



資料編

敦賀市勢要覧 2025

資料編

Contents

自然	2
人口	3
行政機構図	4
行政	5
議会	6
財政	8
産業	10
工業	11
商業	11
農業	11
林業	12
漁業	12
土木・建築	13
保健・衛生	14
運輸	15
民生	16
電気・ガス・水道	17
教育・文化	18
消防・救急	22
主な公共施設	23
主なできごと	24

◎位置と地勢

- 位 置 東経136度3分20秒
北緯35度38分43秒 (敦賀市役所)
- 面 積 251.47km²
- ひろがり 東西 約14km 南北 約26km



◎地目別面積

(各年1月1日現在) (単位: ha)

年 別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
宅地及び雑種地	1,960.1	1,970.2	1,107.8	1,983.2	1,988.8
田	1,172.5	1,168.0	1,164.1	1,158.1	1,151.9
畑	232.2	231.8	230.6	230.3	228.6
山 林	4,050.1	4,047.0	4,047.2	4,046.8	4,048.1
原 野	194.1	190.5	190.6	190.5	191.5
池 沼	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
総 数	7,609.6	7,608.1	7,609.1	7,609.5	7,609.5

(非課税分を除く) 資料: 税務課

◎気 象

(各年12月31日現在)

年 別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
降水量 (mm)	総 降 水 量	2,461.0	2,454.5	2,066.5	2417.5	2364.0
	日 最 大	81.0	67.0	92.5	130.5	111.0
気温 (℃)	平 均	16.3	16.2	16.2	16.9	17.1
	最 高	36.5	36.3	37.2	37.4	37.5
	最 低	－1.0	－2.4	－1.5	－2.9	－1.1
平均湿度 (%)		74	73	73	72	73
積雪最大値 (cm)		9	26	26	37	36
日照時間 (時間)		1,619.8	1,777.4	1,702.9	1,906.2	1,723.2

資料: 福井地方気象台 (観測値は敦賀特別地域気象観測所の値)

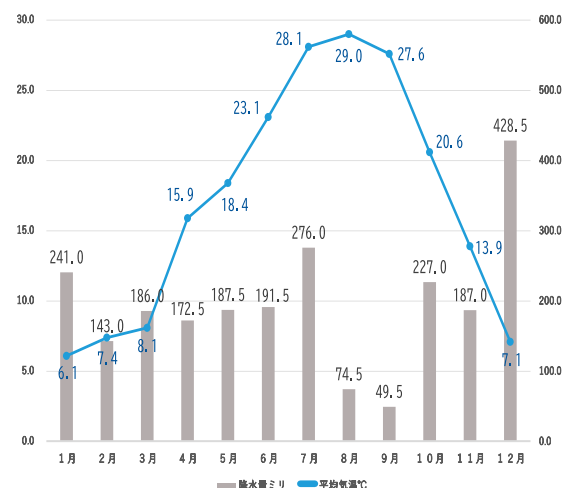
◎天気日数

(各年12月31日現在) (単位: 日)

年 別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
不 照	49	49	41	42	50
雨 ≥1mm	182	158	155	158	162
雪	21	44	53	46	37
積 雪 ≥5cm	1	22	26	12	9

資料: 福井地方気象台 (観測値は敦賀特別地域気象観測所の値)

◎平均気温・降水量 (令和6年)



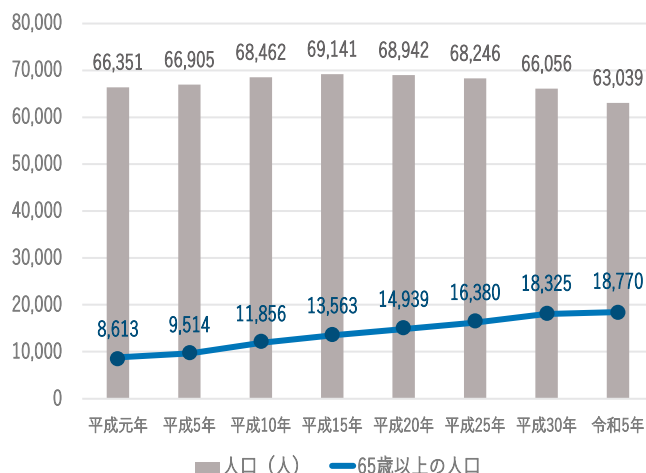
資料: 福井地方気象台 (観測値は敦賀特別地域気象観測所の値)

世帯数・人口推移

(各年9月末)

年 別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
世 帯 数		29,036	29,074	29,163	29,136	29,244
人 口	総 数	65,060	64,425	63,797	63,039	62,375
	男	32,105	31,783	31,486	31,110	30,746
	女	32,955	32,642	32,311	31,929	31,629
65歳以上人口 (対象人口%)		18,668 (28.69)	18,875 (29.30)	18,820 (29.50)	18,770 (29.80)	18,787 (30.20)

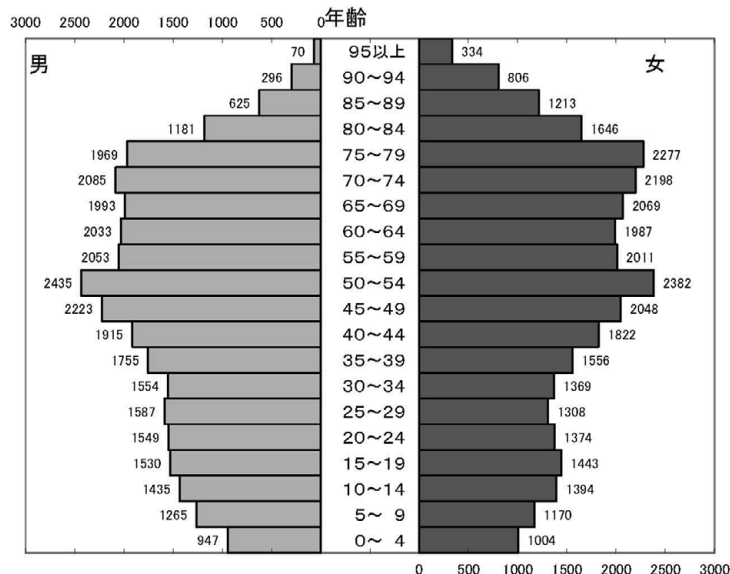
資料：市民課



人口ピラミッド (令和7年3月31日現在)

令和7年3月31日現在

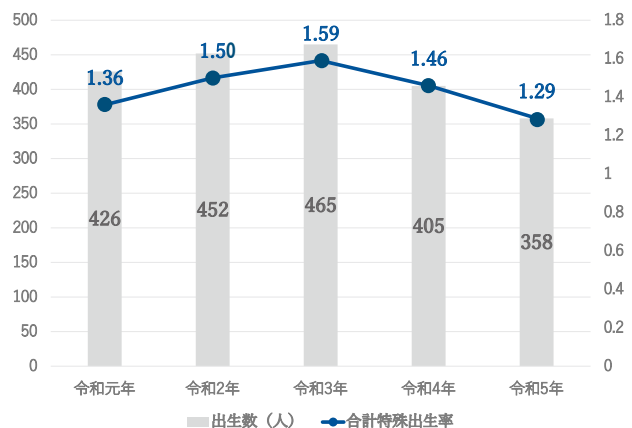
総人口：61,911人 世帯数：29,244世帯



資料：市民課

出生数・合計特殊出生率

(単位：人)



資料：健康推進課

※出生数は、福井県人口動態統計
 ※合計特殊出生率は、母の年齢別出生数(福井県人口動態統計)と、5歳階級別日本人女性人口(各年9月末時点の住民基本台帳)で計算

人口動態

(各年中) (単位：人)

年 別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
自然動態	出 生	457	470	401	368	361
	死 亡	777	744	935	856	870
	増 減	－ 320	－ 274	－ 534	－ 488	－ 509
社会動態	転 入	1,903	1,796	2,099	1,993	2,132
	転 出	2,140	2,157	2,238	2,234	2,186
	増 減	－ 237	－ 361	－ 139	－ 241	－ 54
差 引 増 減		－ 557	－ 635	－ 673	－ 729	－ 563

資料：市民課

◎歴代市長

(令和7年4月1日現在)

歴代	氏 名	在職期間
初代	森 本 一 雄	昭12. 4～昭13.12
2	若 林 義 孝	昭13.12～昭15.12
3	末 原 貫一郎	昭16. 4～昭20. 4
4	田保 仁左衛門	昭20. 4～昭21. 9
5	川 原 與 作	昭22. 4～昭26. 4
6	川 原 與 作	昭26. 4～昭30. 4
7	畑 守 三四治	昭30. 4～昭34. 4
8	畑 守 三四治	昭34. 4～昭38. 4
9	畑 守 三四治	昭38. 4～昭42. 4
10	矢 部 知恵夫	昭42. 4～昭46. 4
11	矢 部 知恵夫	昭46. 4～昭50. 4
12	矢 部 知恵夫	昭50. 4～昭54. 4
13	高 木 孝 一	昭54. 4～昭58. 4
14	高 木 孝 一	昭58. 4～昭62. 4
15	高 木 孝 一	昭62. 4～平 3. 4
16	高 木 孝 一	平 3. 4～平 7. 4
17	河 瀬 一 治	平 7. 4～平11. 4
18	河 瀬 一 治	平11. 4～平15. 4
19	河 瀬 一 治	平15. 4～平19. 4
20	河 瀬 一 治	平19. 4～平23. 4
21	河 瀬 一 治	平23. 4～平27. 4
22	淵 上 隆 信	平27. 4～平31. 4
23	淵 上 隆 信	平31. 4～令 5. 4
24	米 澤 光 治	令 5. 4 ～在 職 中

◎歴代助役

歴代	氏 名	在職期間
初代	水 野 定 治	昭12. 6～昭16. 6
2	藤 本 重 志	昭16. 8～昭20. 7
3	関 市太郎	昭20. 9～昭22. 3
4	関 市太郎	昭22. 7～昭26. 6
5	関 市太郎	昭26. 7～昭30. 6
6	関 市太郎	昭30. 6～昭33. 8
7	桃 井 孝 一	昭33. 8～昭37. 8
8	桃 井 孝 一	昭37. 8～昭41. 8
9	川 端 喜代士	昭42. 6～昭46. 6
10	川 端 喜代士	昭46. 6～昭50. 6
11	川 端 喜代士	昭50. 6～昭54. 6
12	栗 原 正	昭54. 7～昭58. 7
13	栗 原 正	昭58. 7～昭62. 7
14	栗 原 正	昭62. 7～平 3. 7
15	栗 原 正	平 3. 7～平 7. 5
16	市 橋 一 義	平 7. 5～平10. 3

歴代	氏 名	在職期間
17	坂 本 直 夫	平10. 4～平14. 3
18	坂 本 直 夫	平14. 4～平17. 3
19	多 田 清太郎	平17. 4～平19. 3
	塚 本 勝 典	平17. 4～平19. 3

◎歴代副市長

歴代	氏 名	在職期間
初代	多 田 清太郎	平19. 4～平21. 3
	塚 本 勝 典	平19. 4～平21. 3
2	塚 本 勝 典	平21. 4～平23. 5
3	塚 本 勝 典	平23. 6～平27. 4
	木 村 学	平23. 6～平27. 3
4	中 山 和 範	平27. 5～平29. 3
5	片 山 富士夫	平29. 4～令 3. 3
	中 山 和 範	平29. 4～令 3. 3
6	片 山 富士夫	令 3. 4～令 5. 4
	池 澤 俊 之	令 3. 4～令 5. 4
7	池 澤 俊 之	令 5. 5～在 職 中
	堤 宗 和	令 5. 5～在 職 中

◎歴代収入役

歴代	氏 名	在職期間
初代	奥 井 加 一	昭12. 6～昭14.10
2	中 西 幸次郎	昭14.11～昭16.11
3	安 田 庄 吉	昭18. 2～昭21.12
4	杉 島 栄三郎	昭22. 5～昭24. 8
5	家 倉 梯二郎	昭24. 9～昭28. 9
6	家 倉 梯二郎	昭28. 9～昭31. 9
7	桃 井 孝 一	昭31.10～昭33. 8
8	岸 丈太郎	昭33. 8～昭37. 8
9	岸 丈太郎	昭37. 8～昭42. 9
10	川 田 義 一	昭42. 9～昭46. 9
11	川 田 義 一	昭46. 9～昭50. 9
12	川 田 義 一	昭50. 9～昭53. 3
13	藤 田 一 雄	昭53. 4～昭57. 3
14	伊 藤 卓 爾	昭57. 4～昭61. 3
15	伊 藤 卓 爾	昭61. 4～平元. 3
16	吉 村 栄	平元. 4～平 5. 3
17	吉 村 栄	平 5. 4～平 9. 3
18	坂 本 直 夫	平 9. 5～平10. 3
19	内 藤 久米男	平10. 4～平14. 3
20	靄 田 義 孝	平14. 4～平17. 3
21	寺 澤 二 郎	平17. 4～平19. 3

市議会の概要

議員定数

(令和7年1月1日現在)

条例定数	現員数
22人	22人

本会議

(令和6年)

招集回数		本会議日数
定例会	臨時会	
4回	0回	21日

議会提出議案の審議結果

(令和6年)

区 分	件 数	可 決	否 決	選 任	選 挙
条 例	3	2	1	—	—
意見書	3	3	—	—	—
決 議	1	—	1	—	—
人 事	3	—	—	—	3
一 般	1	1	—	—	—
合 計	11	6	2	0	3

市長提出議案の審議結果

(令和6年)

区 分	件 数	可 決	否 決	認 定	承 認	報告のみ	同 意
予 算	35	35	—	—	—	—	—
条 例	29	29	—	—	—	—	—
決 算	4	—	—	4	—	—	—
人 事	8	—	—	—	—	—	8
一 般	14	14	—	—	—	—	—
報 告	22	—	—	—	5	17	—
合 計	112	78	0	4	5	17	8

※前年からの継続案件除く

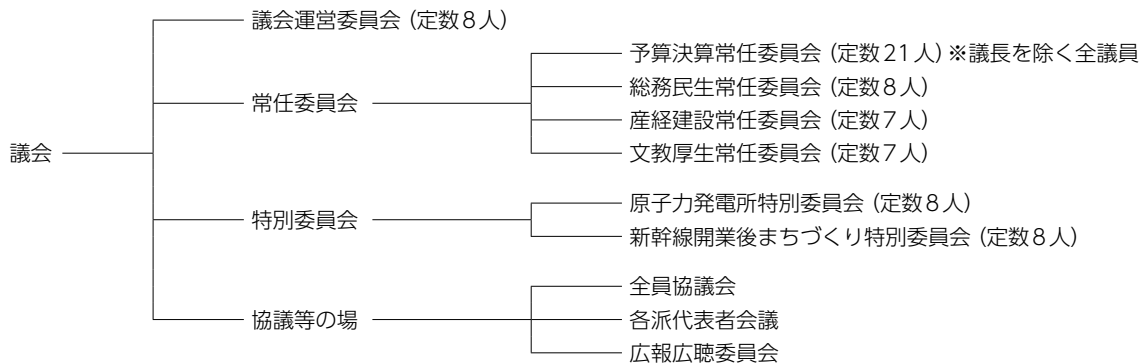
請願・陳情の審議結果

(令和6年)

区 分	件 数	採 択	趣旨採択	不採択	継続審議	審議未了
請 願	3	—	—	3	—	—
陳 情	1	1	—	—	—	—
合 計	4	1	0	3	0	0

議会構成

(令和7年3月31日現在)



市議会議員 (議席順)

(令和7年2月19日現在)

議席	氏 名	会 派	所属常任委員会	議席	氏 名	会 派	所属常任委員会
1	河 瀬 太 治	市 政 会	◎産経建設	14	中 野 史 生	市 政 会	—
2	高 城 庄 佑	市 政 会	○総務民生	15	田 中 和 義	市 政 会	文教厚生
3	山 本 武 志	市 民 ク ラ ブ	産経建設	16	馬 淵 清 和	市 政 会	総務民生
4	豊 田 耕 一	市 民 ク ラ ブ	◎総務民生	17	有 馬 茂 人	市 政 会	文教厚生
5	縄 手 博 和	市 政 会	○産経建設	18	松 宮 学	日本共産党敦賀市議員団	産経建設
6	川 端 耕 一	市 政 会	産経建設	19	山 本 貴 美 子	日本共産党敦賀市議員団	文教厚生
7	浅 野 好 一	市 政 会	総務民生	20	籠 太 一 朗	あたらしい敦賀	産経建設
8	大 石 修 平	市 政 会	◎文教厚生	21	吉 田 隆 昭	あたらしい敦賀	産経建設
9	中 道 恭 子	公 明 党	文教厚生	22	北 條 正	あたらしい敦賀	文教厚生
10	大 塚 佳 弘	公 明 党	総務民生				
11	今 川 博	市 民 ク ラ ブ	○文教厚生				
12	三 田 村 峻	あたらしい敦賀	総務民生				
13	橋 本 彬 穂	あたらしい敦賀	総務民生				

◎委員長 ○副委員長

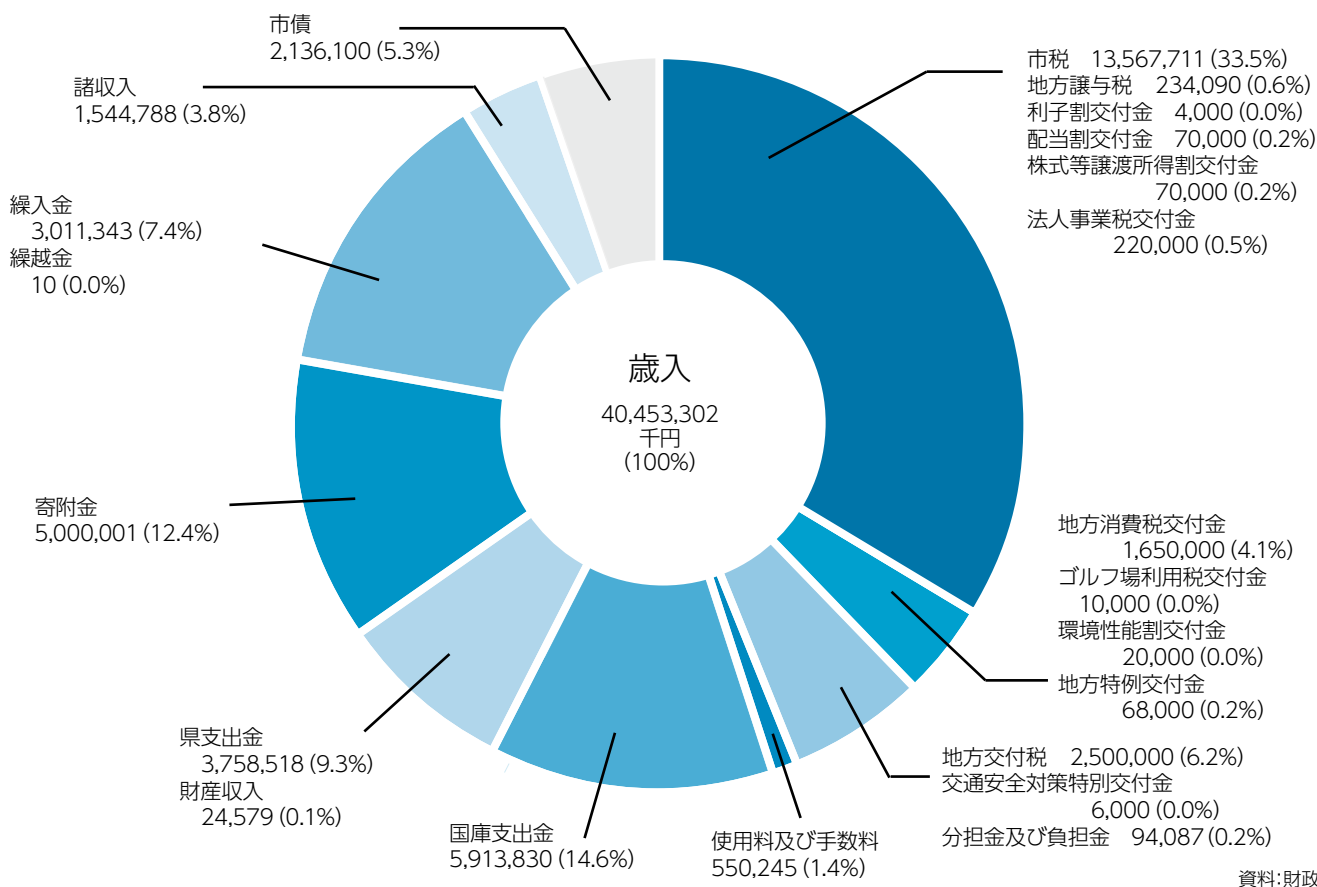
●歴代議長

歴順	氏 名	在職期間
初代	田保 仁左衛門	昭12. 6～昭17. 5
2	田保 仁左衛門	昭17. 6～昭19. 6
3	畑 守 三四治	昭19. 6～昭20. 4
4	辻 野 長太郎	昭20. 5～昭21. 9
5	松 永 藤 吉	昭21.10～昭22. 4
6	脇 坂 貞二郎	昭22. 5～昭24. 2
7	田 中 喜三郎	昭24. 3～昭26. 4
8	田 中 喜三郎	昭26. 5～昭30. 4
9	田 中 喜三郎	昭30. 5～昭31. 6
10	吉 川 柳 三	昭31. 6～昭34. 4
11	有 馬 義 夫	昭34. 5～昭35. 1
12	奥 野 伊佐男	昭35. 1～昭35. 4
13	澤 崎 廣 吉	昭35. 4～昭37. 5
14	中 有 馬 義 夫	昭37. 5～昭38. 4
15	有 保 谷 久一郎	昭38. 5～昭39. 4
16	小 森 宗 隆	昭39. 4～昭40. 4
17	山 本 久太郎	昭40. 4～昭42. 4
18	山 本 久太郎	昭42. 5～昭43. 6
19	山 本 久太郎	昭43. 6～昭44. 6
20	池 田 嘉 市	昭44. 6～昭44. 7
21	松 田 斂	昭44. 7～昭46. 4
22	岩 崎 邦 夫	昭46. 5～昭48. 6
23	長 橋 於 兎 吉	昭48. 6～昭50. 4
24	山 本 栄 造	昭50. 5～昭52. 7
25	山 口 良 藏	昭52. 7～昭53. 6
26	田 辺 繁太郎	昭53. 6～昭54. 4
27	森 野 良 治	昭54. 5～昭56. 6
28	有 馬 義 一	昭56. 6～昭58. 4
29	森 口 松太郎	昭58. 5～昭59. 3
30	有 馬 義 一	昭59. 3～昭62. 4
31	田 中 栄 助	昭62. 5～昭63. 6
32	沢 崎 貢 実	昭63. 6～平元.12
33	中 池 宏 行	平元.12～平 3. 4
34	内 川 端 夫	平 3. 5～平 4. 6
35	川 土 重 夫	平 4. 6～平 5. 6
36	土 手 重 夫	平 5. 6～平 5. 9
37	村 上 哲 雄	平 5. 9～平 6. 9
38	岸 本 寛 三	平 6. 9～平 7. 4
39	橋 本 昭 之 介	平 7. 5～平 9. 3
40	岸 上 野 修 一	平 9. 3～平 9.10
41	川 端 道 夫	平 9.10～平11. 4
42	辻 増 田 秀 雄	平11. 5～平12. 6
43	増 田 一 司	平12. 6～平15. 4
44	水 上 征二郎	平15. 5～平18. 9
45	平 川 幹 夫	平18. 9～平19. 4
46	木 下 章 治	平19. 5～平20. 6
47	岡 本 正 治	平20. 6～平21. 6
48	宮 崎 則 夫	平21. 6～平22. 6
49	堂 前 一 幸	平22. 6～平23. 4
50	常 岡 大 三 郎	平23. 5～平25. 6
51	有 馬 茂 人	平25. 6～平26. 6
52	有 馬 茂 人	平26. 6～平27. 4
53	原 泉 幸 雄	平27. 5～平29. 6
54	和 泉 明 明	平29. 6～平30. 6
55	和 泉 明 義	平30. 6～平31. 4
56	田 中 和 義	令元. 5～令 2. 6
57	福 谷 正 人	令 2. 6～令 4. 6
58	馬 谷 清 和	令 4. 6～令 4.12
59	馬 谷 清 史	令 4.12～令 5. 4
60	馬 谷 清 史	令 5. 4～令 6. 6
61	中 野 史 生	令 6. 6～ 在職中

●歴代副議長

歴順	氏 名	在職期間
初代	仲 村 平太郎	昭12. 6～昭14. 6
2	辻 野 長太郎	昭14. 6～昭17. 5
3	辻 野 長太郎	昭17. 6～昭19. 6
4	山口 文右工門	昭19. 6～昭21. 9
5	脇 坂 貞二郎	昭21.10～昭22. 4
6	前 島 申 孝	昭22. 5～昭24. 6
7	有 馬 義 夫	昭24. 6～昭26. 4
8	木 村 達 也	昭26. 5～昭29. 6
9	吉 川 柳 三	昭29. 7～昭30. 4
10	小 森 宗 隆	昭30. 5～昭31. 6
11	中 山 一 雄	昭31. 6～昭34. 4
12	奥 野 伊佐男	昭34. 5～昭35. 1
13	広 比 蛟	昭35. 1～昭35. 3
14	山 本 久太郎	昭35. 4～昭37. 5
15	今 井 鼎 蔵	昭37. 5～昭38. 4
16	小 森 宗 隆	昭38. 5～昭39. 4
17	矢 部 知 恵 夫	昭39. 4～昭42. 1
18	伊 吹 正 吉	昭42. 1～昭42. 4
19	池 田 嘉 市	昭42. 5～昭43. 6
20	松 田 斂	昭43. 6～昭44. 7
21	田 辺 繁太郎	昭44. 7～昭46. 4
22	長 橋 於 兎 吉	昭46. 5～昭48. 6
23	山 本 栄 造	昭48. 6～昭50. 4
24	森 野 良 治	昭50. 5～昭52. 7
25	山 東 栄 吉	昭52. 7～昭53. 6
26	米 岡 義 一	昭53. 6～昭54. 3
27	有 馬 義 一	昭54. 5～昭56. 6
28	三 上 繁 男	昭56. 6～昭58. 4
29	澤 崎 貢 助	昭58. 5～昭59. 3
30	田 中 栄 寛	昭59. 3～昭62. 4
31	岸 本 道 夫	昭62. 5～昭63. 6
32	川 端 重 三	昭63. 6～平元.12
33	土 手 重 夫	平元.12～平 3. 4
34	橋 本 昭 三	平 3. 5～平 4. 6
35	藤 田 守 一	平 4. 6～平 5. 6
36	小 川 英次郎	平 5. 6～平 7. 4
37	安 居 喜 義 雄	平 7. 5～平 8. 6
38	辻 上 秀 雄	平 8. 6～平 9.10
39	山 村 泰 男	平 9.10～平11. 4
40	中 村 純一郎	平11. 5～平12. 6
41	赤 坂 長太郎	平12. 6～平14. 3
42	増 田 一 司	平14. 3～平15. 4
43	水 上 征二郎	平15. 5～平17. 3
44	堂 前 一 幸	平17. 3～平18. 9
45	立 石 武 志	平18. 9～平19. 4
46	木 下 章 章	平19. 5～平20. 6
47	奥 本 兼 義	平20. 6～平21. 6
48	高 野 新 一	平21. 6～平22. 6
49	河 端 満 正	平22. 6～平23. 4
50	北 條 一 郎	平23. 5～平24. 6
51	籠 原 幸 雄	平24. 6～平25. 6
52	原 山 幸 雄	平25. 6～平26. 6
53	山 崎 法 治	平26. 6～平27. 4
54	別 所 泉 明	平27. 5～平28. 6
55	和 田 中 義 人	平28. 6～平29. 6
56	福 谷 正 清	平29. 6～平30. 6
57	馬 谷 清 和	平30. 6～平31. 4
58	大 塚 佳 弘	令元. 5～令 2. 6
59	中 野 史 生	令 2. 6～令 3. 6
60	浅 野 好 一	令 3. 6～令 4. 6
61	中 道 恭 子	令 4. 6～令 5. 4
62	山 本 武 志	令 5. 5～令 6. 6
63	川 端 耕 一	令 6. 6～令 7. 6
64		令 7. 6～ 在職中

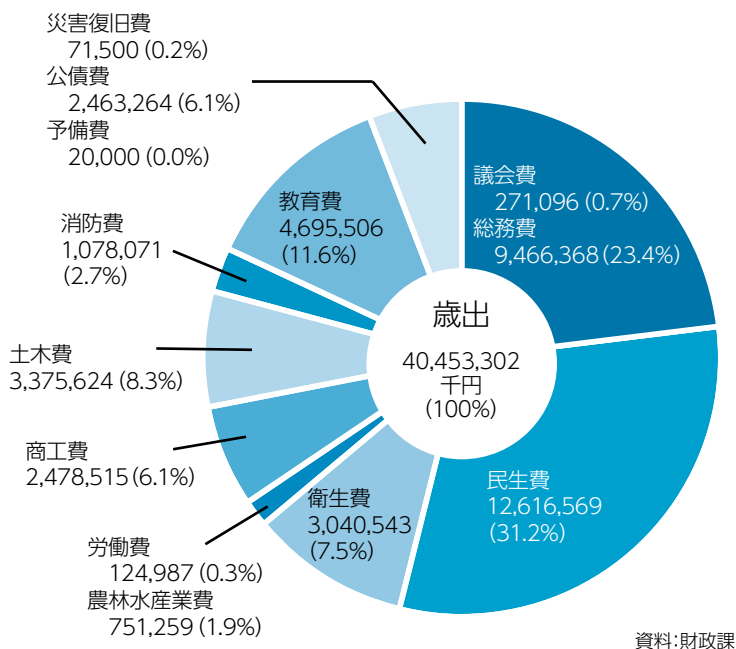
令和7年度 一般会計当初予算額



令和7年度 特別会計・企業会計当初予算額

会 計 名		予算額 (千円)
特別会計	港湾施設事業	16,080
	国民健康保険（事業勘定の部）	5,779,143
	国民健康保険（施設勘定の部）	35,316
	介護保険	6,144,315
	後期高齢者医療	1,041,521
	公共用地先行取得事業	21,773
	小 計	13,038,148
企業会計	市立敦賀病院事業	10,705,776
	水道事業	2,156,981
	下水道事業	4,634,258
	小 計	17,497,015
合 計		30,535,163

資料：財政課



市有財産の状況

(令和5年度決算)

土 地	建 物	基金等積立金	出資金その他
2,858,545㎡	373,282㎡	23,436,991 千円	1,226,030 千円

資料：会計課

●一般会計決算の状況

歳入

(単位：千円・%)

区 分	年 度	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		金 額	構成比	伸 率	金 額	構成比	伸 率	金 額	構成比	伸 率
市 税		13,187,422	27.9	-0.1	13,245,995	29.2	0.4	13,277,149	27.1	0.2
地 方 譲 与 税		235,092	0.5	3.2	233,728	0.5	-0.6	229,700	0.5	-1.7
利 子 割 交 付 金		8,518	0.0	-16.4	4,230	0.0	-50.3	3,342	0.0	-21.0
配 当 割 交 付 金		53,675	0.1	24.1	68,298	0.2	27.2	67,558	0.1	-1.1
株式等譲渡所得割交付金		62,409	0.1	23.6	59,970	0.1	-3.9	71,205	0.1	18.7
法 人 事 業 税 交 付 金		181,110	0.4	123.6	213,810	0.5	18.1	232,677	0.5	8.8
地 方 消 費 税 交 付 金		1,587,020	3.4	8.5	1,641,587	3.6	3.4	1,618,282	3.3	-1.4
ゴルフ場利用税交付金		13,891	0.0	7.1	13,303	0.0	-4.2	13,333	0.0	0.2
自 動 車 取 得 税 交 付 金		0	0	0	209	0.0	皆増	2,158	0.0	934.4
環 境 性 能 割 交 付 金		18,720	0.0	3.8	21,474	0.0	14.7	24,713	0.1	15.1
地 方 特 例 交 付 金		212,236	0.5	201.2	74,483	0.2	-64.9	72,523	0.1	-2.6
地 方 交 付 税		2,051,009	4.3	40.8	2,244,187	4.9	9.4	2,527,294	5.2	12.6
交通安全対策特別交付金		8,095	0.0	-3.3	6,942	0.0	-14.2	6,335	0.0	-8.7
分 担 金 及 び 負 担 金		1,088,727	2.3	146.4	118,026	0.3	-89.2	121,832	0.3	3.2
使 用 料 及 び 手 数 料		545,236	1.2	0.4	567,736	1.3	4.1	548,560	1.1	-3.4
国 庫 支 出 金		8,130,004	17.2	-43.2	6,907,671	15.2	-15.0	7,186,097	14.7	4.0
県 支 出 金		2,617,354	5.6	-0.3	3,065,275	6.8	17.1	3,352,550	6.9	9.4
財 産 収 入		76,608	0.2	0.5	53,358	0.1	-30.3	48,256	0.1	-9.6
寄 附 金		7,758,179	16.4	126.5	8,756,103	19.3	12.9	7,989,335	16.3	-8.8
繰 入 金		1,299,283	2.8	84.5	1,788,640	3.9	37.7	4,397,104	9.0	145.8
繰 越 金		1,731,831	3.7	-7.3	2,625,829	5.8	51.6	2,387,304	4.9	-9.1
諸 収 入		1,657,455	3.5	48.0	1,510,776	3.3	-8.8	2,075,424	4.2	37.4
市 債		4,665,600	9.9	2.9	2,168,900	4.8	-53.5	2,689,500	5.5	24.0
合 計		47,189,474	100.0	1.9	45,390,530	100	-3.8	48,942,231	100	7.8

資料：会計課

歳出

(単位：千円・%)

区 分	年 度	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		金 額	構成比	伸 率	金 額	構成比	伸 率	金 額	構成比	伸 率
議 会 費		272,817	0.6	0.4	271,317	0.6	-0.6	259,990	0.6	-4.2
総 務 費		15,668,671	35.2	7.4	13,175,534	30.6	-15.9	11,835,084	25.3	-10.2
民 生 費		11,567,722	26.0	14.8	11,000,010	25.6	-4.9	11,793,949	25.3	7.2
衛 生 費		3,646,340	8.2	23.4	3,878,750	9.0	6.4	5,740,805	12.3	48.0
労 働 費		138,301	0.3	-1.7	117,984	0.3	-14.7	117,907	0.2	-0.1
農 林 水 産 業 費		469,764	1.1	21.4	677,870	1.6	44.3	604,241	1.3	-10.9
商 工 費		1,564,007	3.5	-42.5	2,619,423	6.1	67.5	3,033,449	6.5	15.8
土 木 費		4,374,684	9.8	18.7	4,035,774	9.4	-7.7	4,789,082	10.2	18.7
消 防 費		1,006,654	2.2	-0.1	929,721	2.2	-7.6	1,011,414	2.2	8.8
教 育 費		3,867,343	8.7	-43.1	3,973,081	9.2	2.7	4,717,372	10.1	18.7
災 害 復 旧 費		0	0.0	-100.0	145,169	0.3	皆増	242,496	0.5	67.0
公 債 費		1,987,343	4.4	2.3	2,178,593	5.1	9.6	2,550,156	5.5	17.1
合 計		44,563,646	100.0	0.0	43,003,226	100	-3.5	46,695,945	100	8.6

資料：会計課

●事業所の状況

(平成28年・令和3年は6月1日現在、平成21年・26年は7月1日現在、平成18年は10月1日現在、平成24年は2月1日現在)

区分	年 別	総 数	農林漁業	鉱 業	建設業	製造業	卸売・小売業、 飲食店、宿泊業	金融・保険業	不動産業	情報通信業、 運輸業	電気・ガス・ 熱供給・水道業	サービス業	公 務
事業所数	平成21年	3,864	7	－	534	192	1,642	64	122	136	13	1,122	32
	24年	3,433	5	1	493	189	1,466	60	119	126	7	967	－
	26年	3,652	5	－	500	183	1,535	55	112	121	12	1,089	40
	28年	3,335	4	－	463	170	1,444	56	107	116	9	966	－
	令和3年	3,314	11	－	465	165	1,262	56	134	127	13	1,044	37
従業者数(人)	平成21年	36,415	97	－	4,304	3,852	10,157	763	432	2,698	698	12,341	1,073
	24年	33,382	22	3	4,155	4,604	9,594	636	566	2,723	678	10,401	－
	26年	36,072	15	－	4,192	4,366	9,981	667	499	2,566	618	12,241	927
	28年	31,828	77	－	3,911	3,953	9,430	639	538	2,398	524	10,358	－
	令和3年	34,363	207	－	3,975	3,835	8,706	569	661	2,564	507	12,348	991

注：平成18年から「卸・小売業、飲食店」に「宿泊」を追加、平成24年・28年は公務に関する公表データなし
平成24年・28年は民営事業所数

資料：事業所・企業統計調査、経済センサス-基礎調査、経済センサス-活動調査

●産業別・規模別事業所数(令和3年)

(令和3年6月1日現在)

規 模	総 数	農林漁業	鉱 業	建設業	製造業	卸・小売業、 飲食店、宿泊業	金融・保険業	不動産業	情報通信業、 運輸業	電気・ガス・ 熱供給・水道業	サービス業	公 務
1～4人	1,801	2	－	222	79	724	26	91	37	3	608	9
5～9人	681	4	－	115	36	287	9	29	26	3	159	13
10～19人	445	2	－	75	15	168	14	10	21	4	130	6
20～29人	158	1	－	27	12	40	2	2	10	1	60	3
30人以上	212	2	－	23	22	39	5	1	31	2	81	6
派遣・下請従業者のみ	17	－	－	3	1	4	－	1	2	－	6	－
国・地方公共団体												
総 数	3,314	11	－	465	165	1,262	56	134	127	13	1,044	37

資料：経済センサス-活動調査

●産業別就業人口

(各年10月1日現在)(単位：人)

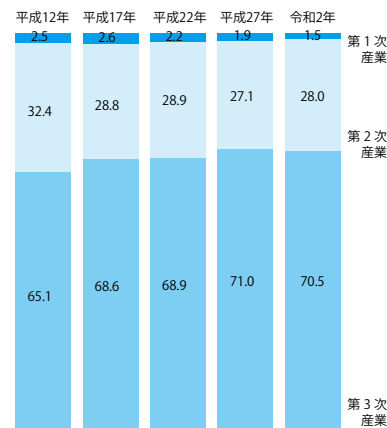
産業分類	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
農 業	692	738	619	521	408
林 業	28	4	13	12	12
漁 業	135	127	95	82	70
鉱 業	13	13	6	11	6
建 設 業	5,924	5,104	5,209	4,404	4,759
製 造 業	5,352	4,699	4,380	4,344	4,048
宿泊、卸・小売業、飲食店	7,561	7,623	7,185	6,741	6,407
金融・保険、不動産業	898	839	949	940	909
運 輸 ・ 通 信 業	2,265	2,331	2,322	2,233	2,134
電気・ガス・熱供給・水道業	1,259	1,017	1,120	1,294	1,295
サ ー ビ ス 業	9,687	10,460	10,222	10,722	10,338
公 務	1,033	1,109	1,095	1,027	1,103
分 類 不 能 の 産 業	9	95	162	489	523
総 数	34,856	34,159	33,377	32,820	32,012

注：平成17年から「卸・小売業、飲食店」に「宿泊」を追加

資料：国勢調査

●就業人口構造

(単位：％)



資料：国勢調査

(平成26年は12月31日現在、平成28年以降は6月1日現在)

年次・産業別		事業所数	従業者数	製造品出荷額等	令和4年内訳	産業別	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
28年		81	3,328	10,530,305		化学	1	24	X
29年		78	3,811	12,551,759		石油・石炭	2	10	X
30年		77	3,658	11,770,705		プラスチック	5	1,123	6,554,138
令和元年		75	3,507	11,862,783		窯業・土石	9	366	1,386,031
2年		74	3,538	13,169,275		鉄鋼	－	－	－
3年		72	3,515	13,602,658		非鉄金属	1	25	X
4年		71	3,312	14,336,699		金属	7	58	73,287
令和4年内訳	食料品	11	201	208,072		はん用機械	－	－	－
	飲料・飼料	－	－	－		生産用機械	2	38	X
	繊維	4	156	75,429		電気機械	5	93	398,534
	木材	3	258	898,264		電子・デバイス	5	595	3,429,456
	家具	1	4	X		輸送機械	3	50	18,950
	パルプ・紙	4	200	936,243		その他	4	40	56,929
	印刷	4	71	81,162					

注:従業者4人以上の事業所 注:「X」は数字が秘匿されているもの。

資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査、経済構造実態調査

(平成14年・16年・19年・28年・令和3年は6月1日現在、平成11年・26年は7月1日現在)

年次・産業別				商店数	従業員数	年間商品販売額	商品手持額
平成11年				1,257	7,244	20,329,328	—
14年				1,117	6,881	18,987,407	1,434,096
16年				1,068	6,522	17,670,656	—
19年				961	6,127	18,365,360	—
26年				697	4,795	15,984,600	—
28年				735	5,066	15,676,900	—
令和3年				652	4,633	178,162	—
令和3年内訳	卸売業			163	1,108	104,339	—
	小売業			489	3,525	73,822	—
	各種商品小売業			1	15	X	—
	繊維・衣服・身の回り品小売業			64	225	2,391	—
	飲食料品小売業			148	1,428	23,818	—
	機械器具小売業			79	594	16,977	—
	その他の小売業			177	1,138	X	—
無店舗小売業				20	125	7,924	—

注：「—」平成11・16年は簡易調査のためなし 注：平成19・26・28年・令和3年は「商品手持額」の集計なし 注:「X」は数字が秘匿されているもの

資料：商業統計調査、経済センサス-活動調査

●農家数・農家人口

(令和2年2月1日現在)

年 別	総 数	販売農家数(戸)					農家人口(人)	
		合 計	専 業	兼業		総 数	農業従事者	
				計	第1種 第2種			
平成22年	1,150	601	135	466	44 422	—	—	
27年	975	502	133	369	20 349	—	—	
令和2年	757	351	20	331	58 273	—	—	

資料：農林業センサス

●経営耕地面積

(令和2年2月1日現在) (単位: ha)

年 別	総 数	田	畑	樹園地
平成22年	678	—	—	—
27年	527	491	22	14
令和2年	418	391	19	8

資料：農林業センサス

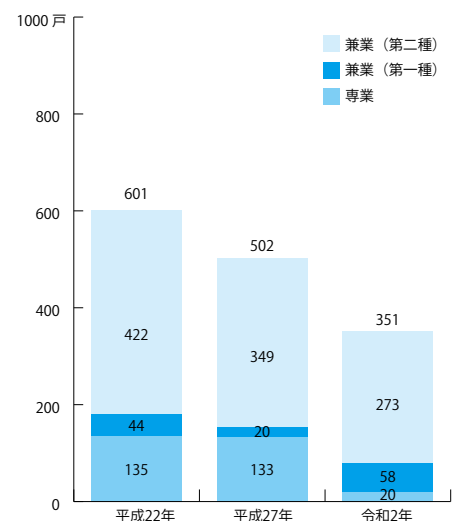
●経営耕地面積規模別農家数

(令和2年2月1日現在)

年 別	総 数	0.5ha未満	0.5～1.0ha未満	1.0～1.5ha未満	1.5～2.0ha未満	2.0ha以上	例外規定に該当する農家
平成22年	1,150	744	238	87	31	46	4
27年	975	627	184	80	27	53	4
令和2年	757	510	139	50	18	38	2

資料：農林業センサス

●販売農家数の推移



資料：農林業センサス

◎森林面積の内訳

(令和5年3月31日現在)

合計	国有林	民有林
19,934ha	4,795ha	15,140ha

資料：福井県林業統計書

◎民有林資源構成表

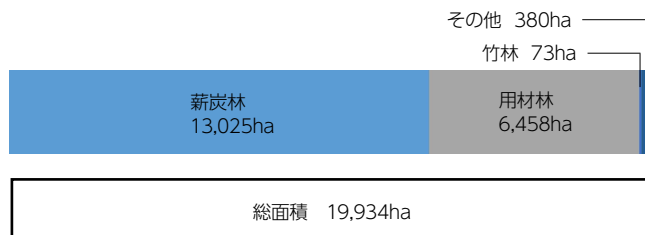
(令和5年3月31日現在)



資料福井県林業統計書

◎用途別森林面積

(令和5年3月31日現在)



注:合計と内訳が一致しないのは四捨五入によるもの 資料福井県林業統計書

◎漁業経営体数

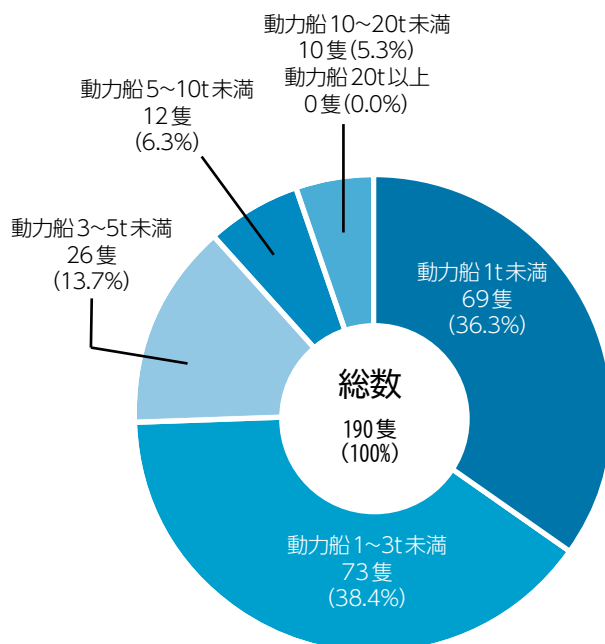
(各年11月1日現在)

年次	計	個人	会社	漁業 協同組合	漁業 生産組合	共同 経営	官公庁 学校 試験場
平成15年	121	118	—	1	—	2	—
20年	110	108	—	1	—	1	—
25年	103	102	—	1	—	—	—
30年	83	83	—	—	—	—	—
令和5年	66	66	—	—	—	—	—

資料：漁業センサス

◎規模別漁船登録数

(令和6年12月31日現在)



◎漁獲量の推移

(各年12月31日現在) (単位：t)

年次	総数	魚類	貝類	藻類	水産動物
令和元年	647	452	15	1	179
2年	630	455	14	1	160
3年	701	545	12	1	143
4年	566	427	9	2	128
5年	597	451	12	1	133
6年	541	423	11	1	106

(※水産動物：頭足類、甲殻類、棘皮類) 資料：農林水産振興課

◎道路

(各年度4月1日現在) (単位: km)

年度別	総 数	国 道	県管理道路	市 道
令和3年度	569.06	50.86	83.9	436.3
4年度	571.06	50.86	83.9	436.3
5年度	571.96	50.86	84.3	436.8
6年度	572.76	50.86	84.8	437.1
7年度	572.36	50.86	84.5	437

資料: 国土交通省福井河川国道事務所、県土木事務所、市道路河川課

◎河川

(令和7年4月1日現在) (単位: km)

通 称	延 長	名 称	数	延 長
二級河川	笙の川	準用河川	23	42.23
	黒河川	普通河川	120	81.43
	木の芽川	砂防指定地 83カ所		
	井の口川			
	五位川			
	助高川			
	三味線川			

資料: 県土木事務所、市道路河川課

◎公共下水道

(令和7年3月31日現在)

名称	供用開始面積	管渠延長	処理場面積	処理能力	排除方式
汚水	1349.9ha	343,285m	69,479m ²	37,575m ³ /日	分流式
雨水	—	22,650m	2,963m ²	992m ³ /min	
計	—	365,935m	72,442m ²	—	

資料: 下水道課

◎市営住宅戸数

(令和7年3月31日現在) (単位: 戸)

種 別	戸 数
公 営	1,044
改 良	412
特 公 賃	8
計	1,464

資料: 住宅政策課

◎都市計画区域

(令和7年3月31日現在)

範 囲	行政区域の一部
面 積	6,511ha

資料: まちづくり推進課

◎都市計画街路

(令和7年3月31日現在)

路線数	路線延長
32	68,170m

資料: まちづくり推進課

◎土地区画整理事業

(令和7年3月31日現在)

地区名	施工者	施工面積 (ha)	施工期間
敦賀第一	組合	4.5	昭和14年度～昭和35年度
戦災復興	県	113.5	昭和21年度～昭和31年度
敦賀船溜	県	4.6	昭和26年度～昭和29年度
清水地区	市	26.6	昭和37年度～昭和47年度
和久野団地	共同	20.1	昭和40年度～昭和42年度
昭和地区	市	39.0	昭和40年度～昭和54年度
松島地区	市	91.6	昭和45年度～昭和63年度
筋生野団地	共同	3.8	昭和47年度～昭和48年度
津内団地	個人	1.9	昭和51年度～昭和52年度
余座団地	共同	7.5	昭和53年度～昭和56年度
木崎地区	市	14.4	昭和55年度～昭和62年度
古田刈地区	市	50.9	昭和55年度～平成13年度
野神第一地区	組合	5.8	平成元年度～平成5年度
丸山地区	共同	4.1	平成元年度～平成2年度
東野神地区	組合	11.3	平成元年度～平成5年度
栗野南地区	組合	6.8	平成3年度～平成6年度
櫛川地区	組合	19.0	平成4年度～平成9年度
山泉地区	組合	8.8	平成5年度～平成7年度
堂地区	組合	14.0	平成4年度～平成10年度
筋生野西地区	組合	4.1	平成8年度～平成11年度
筋生野東地区	組合	3.2	平成13年度～平成16年度
市野々地区	組合	6.6	平成14年度～平成19年度
敦賀駅西地区	市	4.7	平成19年度～平成31年度

資料: まちづくり推進課

◎公園

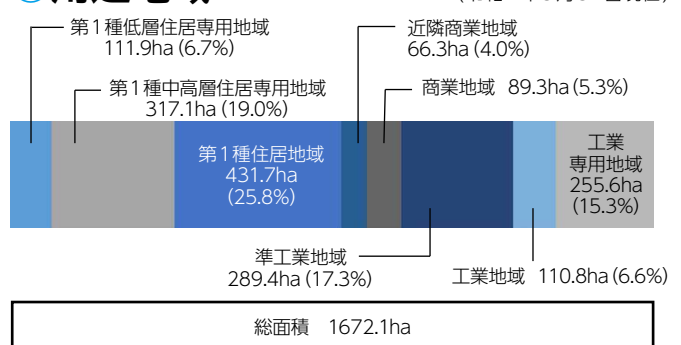
(令和7年3月31日現在)

種 別	公園数	面 積
総 合 公 園	2	96.2ha
運 動 公 園	1	32.7
近 隣 公 園	4	9.2
街 区 公 園	32	6.9
都 市 緑 地	1	1.0
広 場 公 園	2	0.2
児 童 遊 園 地	9	0.4
開発行為による緑地	91	3.6

資料: まちづくり推進課

◎用途地域

(令和7年3月31日現在)



資料: まちづくり推進課

医療関係従事者

(各年12月31日現在)

年 別	総 数	医 師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師 (准看護師含)	管理栄養士 (栄養士含)
平成28年	1,394	129	32	122	51	32	1,004	24
30年	1,436	126	35	130	54	37	1,033	21
令和2年	1,425	137	33	129	47	35	1,019	25
令和4年	1,419	138	32	135	43	34	1,015	22

医療施設

(各年10月1日現在)

年 別	総 数		病 院		診療所		歯科診療所
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	
令和2年	65	969	5	926	37	43	23
3年	65	945	5	902	37	43	23
4年	64	945	5	902	36	43	23
5年	63	942	5	899	37	43	21
6年	64	942	5	899	38	43	21

資料：福井県地域医療課 (令和2年～)

市立敦賀病院の病床数

(令和7年4月1日現在)

一般病床	感染症病床
330床	2床

資料：市立敦賀病院

市立敦賀病院延患者数

(各年度3月31日現在)(単位:人)

年度別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外 来	152,630	165,986	157,784	143,018	146,388
入 院	84,486	84,252	77,018	77,159	78,401

資料：市立敦賀病院

ごみ処理の状況

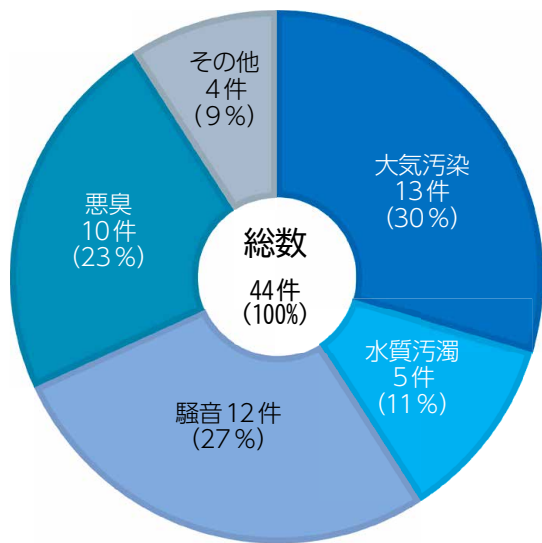
(各年度3月31日現在)(単位:t)

年度別	ご み 処 理 量						計
	燃やせるごみ	資源ごみ (ビン含む)	ペットボトル	粗大ごみ (小型複合ごみ・ 水銀含有ごみ含む)	埋立ごみ	古紙類	
令和2年度	18,001	1,642	191	2,804	205	1,237	24,079
3年度	17,615	1,589	169	2,763	243	1,118	23,497
4年度	17,136	1,556	153	2,813	245	1,071	22,974
5年度	16,293	1,609	163	2,759	220	944	21,987
6年度	16,261	1,459	172	2,730	201	872	21,695

注：合計と内訳が一致しないのは四捨五入によるもの

資料：清掃センター

公害苦情件数 (令和6年度)



資料：環境政策課

資源回収量

(各年度3月31日現在)(単位:t)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
アルミ缶プレス	98.78	89.84	88.34
スチールプレス	63.44	43.90	70.19
破 碎 鉄	232.70	228.74	182.75
粗 大 金 属 類	290.84	274.10	268.80
廃 家 電	37.84	27.38	26.58
水 銀 含 有 ご み	28.38	28.50	37.48
ス プ レ ー 缶 等	27.52	29.54	25.33
被 覆 電 線	4.08	5.32	3.21
プラスチック減容物	183.66	116.00	98.98
ペットボトル圧縮物	134.34	139.50	127.19
カ レ ッ ト 透 明	184.95	136.24	119.80
カ レ ッ ト 茶	119.34	121.99	104.93
カレット その他色	68.18	172.57	80.40
古 紙 類	1,322.57	1,203.52	1,122.86
二 次 電 池	0.05	0.31	0.63
合 計	2,796.67	2,617.45	2,357.47

資料：清掃センター

リサイクル率・1人1日当たりごみ排出量

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
リ サ イ ク ル 率	11.3%	11.0%	10.1%
一人当たりごみ排出量	986 g	953 g	953 g

注：1人1日当たりごみ排出量のごみ処理人口は9月末人口にて算出

資料：清掃センター

◎ J R 敦賀駅の乗車人数 (1日平均)

(各年度3月31日現在) (単位: 人)

年 度 別	乗 車 人 数		
	合 計	普 通	定 期
令和2年度	2,025	892	1,133
3年度	2,311	1,122	1,189
4年度	2,799	1,537	1,262
5年度	2,989	1,732	1,258
6年度	5,363	4,424	939

資料: J R 敦賀駅

◎自動車台数の状況

(各年度3月31日現在) (単位: 台)

年度別	総 数	貨物車	バ ス	乗用車	特種用途車	大型特殊車	軽自動車	二輪車
令和2年度	55,637	4,644	197	23,407	931	600	24,937	921
3年度	55,359	4,534	187	23,250	909	597	24,945	937
4年度	55,218	4,494	180	23,048	904	586	25,055	951
5年度	55,124	4,459	175	23,000	930	588	25,006	966
6年度	55,243	4,390	171	22,924	946	579	25,234	999

注: 二輪車については、令和元年度より小型二輪の台数

資料: 中部運輸局福井運輸支局

◎海洋出入貨物の状況

(各年12月31日現在) (単位: t)

年 別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
輸移出	外 国	190,691	267,108	296,989	249,098	148,960
	内 国	5,962,585	5,762,394	6,056,063	6,206,438	6,642,504
	計	6,153,276	6,029,502	6,353,052	6,455,536	6,791,464
輸移入	外 国	3,589,747	4,090,218	3,325,336	3,259,647	3,826,997
	内 国	6,656,455	6,619,510	7,035,613	7,121,880	7,795,253
	計	10,246,202	10,709,728	10,360,949	10,381,527	11,622,250

資料: 県敦賀港湾事務所

◎入港船舶の状況

(各年12月31日現在)

年 別		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
外 航	隻 数	290	263	255	247
	総トン数	3,834,678	3,207,829	3,340,424	3,846,295
内 航 (その他を含む)	隻 数	1,669	1,730	1,597	1,611
	総トン数	12,606,674	12,918,655	12,189,178	12,199,064
総 数	隻 数	1,959	1,993	1,852	1,858
	総トン数	16,441,352	16,126,484	15,529,602	16,045,359

資料: 県敦賀港湾事務所

◎出入貨物品種別の状況

(令和6年12月31日現在) (単位: t)

品 名	輸移出		輸移入	
	内 国	外 国	内 国	外 国
野 菜 ・ 果 物	42,360	200	196,360	177
石 炭				2,798,188
石 灰 石			460,494	
非 金 属 鉱 物	3,800		104,350	63,201
完 成 自 動 車	4,711,285		4,581,920	
その他輸送機械	751,130	33,025	1,803,440	25,059
セ メ ン ト	165,023	36,425	1,342	
重 油	21,334		21,509	
化 学 薬 品	820		38,344	14,596
紙 ・ パ ル プ	18,260	183	47,360	712
その他製造工業品	235,040	6,910	24,064	17,490
再利用資材	27,177	3,468	12,180	
そ の 他	666,275	68,749	503,890	907,574
合 計	6,642,504	148,960	7,795,253	3,826,997

資料: 県敦賀港湾事務所

◎フェリー利用の状況

(各年12月31日現在)

年 別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
入出港回数 (回)	714	752	755	742
乗 客 総 数 (人)	42,628	62,487	77,345	68,277
トラック等 (台)	96,650	100,941	95,707	95,210
乗 用 車 (台)	15,743	24,133	29,276	25,827

資料: 新日本海フェリー(株)敦賀支店

●福祉施設の状況

(各年度4月末現在)

年度別	乳児院 (白梅学園)			養護施設 (白梅学園)			児 童 厚生施設			児童文化センター	保育園			指定障害者支援施設 (やまびこ園)					障害者通所施設			児童デイサービスセンター	子ども発達支援センター	福祉総合センター	隣保館 (三島会館)	養護老人ホーム		
	施設数	定員	収容人員	施設数	定員	収容人員	児童館	児童センター	児童遊園		園数	定員	入所人員	施設数	定員		入・通所人員		施設数	定員	通所人員					ホーム数	定員	入所人員
															入所	通所	入所	通所										
令和3年度	1	10	6	1	44	40	2	1	1	1	25	2,083	1,873	1	30	20	30	14	11	270	228	-	1	1	1	1	30	29
4年度	1	10	5	1	42	36	2	1	1	1	25	2,083	1,772	1	30	20	29	15	12	285	257	-	1	1	1	1	30	28
5年度	1	10	5	1	40	33	2	1	1	1	25	2,083	1,713	1	30	20	30	12	14	315	255	-	1	1	1	1	30	27
6年度	1	10	4	1	38	34	2	1	1	1	25	2,015	1,622	1	30	20	29	13	14	315	304	1	1	1	1	1	30	27
7年度	1	10	4	1	38	27	2	1	1	1	25	2,017	1,645	1	30	20	29	11	13	295	300	1	1	1	1	1	30	23

資料：地域福祉課、障がい福祉課、子育て政策課、保育課、長寿健康課

●生活保護の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	被保護世帯数 (世帯)	被保護人員 (人)	保護率 (千人当たり) (%)	保護費 総額 (千円)	生活 扶助 (千円)	住宅 扶助 (千円)	教育 扶助 (千円)	医療 扶助 (千円)	介護 扶助 (千円)	出産 扶助 (千円)	生業 扶助 (千円)	葬祭 扶助 (千円)	就労自立 等給付金 (千円)	施設事務費 (千円)
令和2年度	309	370	0.57	532,561	173,820	66,732	896	256,703	12,850	0	902	1,430	0	19,228
3年度	330	387	0.61	602,153	179,664	67,266	1,009	313,122	13,177	0	684	979	0	26,252
4年度	322	380	0.6	594,442	175,802	70,300	1,234	301,750	12,355	0	950	683	0	31,339
5年度	311	364	0.58	575,402	176,397	72,835	993	265,407	20,892	0	897	554	0	37,131
6年度	309	352	0.57	600,718	170,067	71,482	933	293,010	19,093	0	366	943	514	44,311

資料：地域福祉課

●国民健康保険の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	加入状況		保 険 給 付 費							
	被保険 世帯数 (世帯)	被保険 者 数 (人)	療 養 諸 費						高額 医療費 (千円)	その他の 給付 (千円)
			費 用 額 (千円)					保険者 負担額 (千円)		
			一 般	歯 科	薬 剤	療養費	計			
令和 元年度	8,050	12,288	4,172,134	277,709	908,902	41,545	5,400,290	3,938,147	619,694	14,428
2年度	8,006	12,085	4,094,109	256,585	845,937	46,951	5,243,582	3,840,952	611,679	20,040
3年度	7,883	11,798	4,217,207	266,359	874,558	35,320	5,393,444	3,960,922	639,139	16,070
4年度	7,560	11,171	4,239,075	261,402	875,639	29,260	5,405,376	3,983,940	633,732	17,697
5年度	7,319	10,632	3,986,213	246,148	865,531	30,307	5,128,199	3,774,306	593,137	17,505

資料：国保年金課

●国民年金の状況

(各年度3月31日現在)

年度別		国 民 年 金 支 給 状 況				年 金 加 入 状 況			
		老齢給付	障害給付	遺族給付	計	1号(件)	任意(件)	3号(件)	計(件)
令和4年度	件数(件)	18,083	1,123	106	19,312	5,268	54	3,716	9,038
	金額(千円)	12,444,330	950,192	83,622	13,478,144				
令和5年度	件数(件)	18,140	1,155	117	19,412	5,246	47	3,413	8,706
	金額(千円)	12,783,726	996,800	94,343	13,874,869				

資料：国保年金課

●介護保険施設の状況

(各年4月末現在)

年 別	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	施設数	定 員	施設数	定 員	施設数	定 員
令和3年	5	339	4	369	0	0
4年	5	339	4	369	0	0
5年	5	339	4	369		
6年	5	339	4	369		
7年	5	339	4	369		

※介護療養型医療施設は令和6年3月末で廃止 資料：長寿健康課

●介護保険認定者の状況

(各年10月末現在)

年 別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和2年	484	504	784	613	505	389	305	3,584
3年	444	493	798	640	469	411	287	3,542
4年	481	467	766	602	459	434	270	3,479
5年	542	431	761	553	456	437	282	3,462
6年	567	457	812	549	435	444	252	3,516

資料：長寿健康課



電気・ガス・水道

●電灯・電力消費の状況

(各年度3月31日現在) (単位：MWh)

年度別	電 灯	電 力					合 計
		業務用	小 口	大 口	その他	計	
平成26年度	204,889	131,604	47,573	419,098	8,870	607,145	812,034
27年度	196,266	127,853	44,906	425,077	8,273	606,109	802,375
28年度	198,710	130,183	44,948	486,269	8,111	669,511	868,221
29年度	199,402	127,058	44,781	494,517	8,923	675,279	874,682
30年度	189,744	107,504	39,704	356,458	7,710	511,377	701,121

※電灯の使用電力量については、定額、従量、その他の合計で記載してあります。
 ※電力小売り全面自由化により、市内の電力消費量の把握が困難であるため、令和元年度から調査なし。

資料：北陸電力(株)敦賀営業所

●都市ガス消費量

(各年12月31日現在) (単位：m)

年 別	総 数	家庭用	工業用	商業用	その他
令和2年	968,655	509,806	—	227,115	231,734
3年	953,944	499,996	—	223,264	230,684
4年	932,593	473,723	—	237,431	221,439
5年	920,415	426,664	—	273,974	219,777
6年	1,027,861	420,756	—	372,880	234,225

※45MJ/m³ベース 資料：敦賀ガス(株)

●水道の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	給水戸数	給水人口	取水量	配水管総延長	総配水量	有収水量	水道料金
令和2年度	28,418	63,223	11,051,000	549,048	10,513,434	9,666,636	894,970
3年度	28,384	62,548	10,943,689	549,794	10,509,483	9,670,357	951,988
4年度	28,431	61,791	10,692,255	548,480	10,100,952	9,295,491	1,060,481
5年度	28,532	61,265	10,529,123	548,645	9,955,460	9,158,853	1,042,316
6年度	28,652	60,658	10,616,061	548,726	9,951,124	9,111,776	1,044,052

資料：上水道課

●学校

(各年度5月1日現在)

区 分	年度別	園・学校	学級数	児・生徒数	教職員数
幼稚園	令和2年度	3	9	124	19
	3年度	3	8	114	20
	4年度	3	8	98	23
	5年度	3	7	80	23
	6年度	2	6	75	23
認定こども園	令和2年度	4	24	601	78
	3年度	4	24	605	76
	4年度	4	22	593	80
	5年度	4	28	553	95
	6年度	4	31	521	95
小学校	令和2年度	15	161	3,496	297
	3年度	13	152	3,383	271
	4年度	13	149	3,308	278
	5年度	11	149	3,255	281
	6年度	11	145	3,174	280
中学校	令和2年度	6	72	1,757	162
	3年度	6	76	1,772	166
	4年度	6	75	1,747	172
	5年度	5	70	1,664	160
	6年度	5	70	1,658	157

資料：学校教育課

●高校

(各年度5月1日現在)

区 分	年度別	学級数	生徒数	教職員数
敦賀高校	令和4年度	26	707	89
	5年度	26	719	95
	6年度	26	714	90
敦賀工業高校	令和4年度	12	322	60
	5年度	12	319	61
	6年度	12	312	59
敦賀気比高校	令和4年度	21	683	71
	5年度	21	670	92
	6年度	21	640	86

資料：各高校

●大学

(各年度5月1日現在)

区 分	年度別	学生数	教職員数
看護大学	令和4年度	250	42
	5年度	250	45
	6年度	249	44

●中学卒業生の進路状況(令和6年度)

卒業生総数	進学者	就職者							その他
		市 内	県 内	京阪神	中 京	関 東	その他	計	
543	540	0	0	0	0	0	0	0	3

資料：学校教育課

●高校卒業生の進路状況(令和6年度)

区 分	卒業生 総数	進学者	就 職 者							その他
			市 内	県 内	京阪神	中 京	関 東	その他	計	
敦賀高校	224	183	26	5	2	0	3	2	38	3
敦賀工業高校	92	19	43	18	3	3	2	4	73	0
敦賀気比高校	195	165	11	8	1	1	0	2	23	7

資料：各高校

市立社会教育施設等

(令和7年3月31日現在)

施設名	所在地	施設内容
生涯学習センター	東洋町	事務室1、生涯学習スペース1、研修室3 鉄骨造2階建・延面積465㎡
東浦公民館	五幡	事務室1、和室2、ホール1、研修室2、調理実習室1 鉄筋コンクリート造2階建・延面積880㎡
北公民館	曙町	事務室1、図書室1、研修室2、和室2、ホール1、調理実習室1 鉄筋コンクリート造3階建(2・3階)・延面積1,294㎡
南公民館	本町2丁目	事務室1、研修室2、和室2、調理実習室1、ホール1、多目的ルーム1 鉄筋コンクリート造3階建(1・2階)・延面積1,419㎡
西公民館	三島町2丁目	事務室1、展示ホール1、美術工芸室1、調理実習室1、小ホール1、大ホール1、研修室3、談話室1、和室2、特別会議室1 鉄筋コンクリート造3階建・延面積2,066㎡
東郷公民館 (東郷コミュニティセンター)	井川	事務室1、和室2、研修室1、ホール1、調理実習室1、会議室1、体育館1 公民館 鉄筋コンクリート造2階建(一部鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建)・延面積847㎡ 体育館 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建・延面積1,151㎡
中郷公民館	羽織町	事務室1、研修室1、調理実習室1、ホール1、会議室2、和室2 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)2階建・延面積1,082㎡
愛発公民館	疋田	事務室1、会議室1、ホール1、研修室2、和室1、調理実習室1、体育館1、その他(工芸室、多目的室等) 公民館 鉄筋コンクリート造3階建・延面積2,846㎡ 体育館 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建・延面積1,020㎡
栗野公民館	御名	事務室1、会議室1、サロン1、大ホール1、小ホール1、研修室3、研修室(和室)1、料理実習室1、託児室1、図書室1、創作室1、屋上広場1 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)3階建・延面積1,999㎡
松原公民館	新松島町	事務室1、研修室2、調理実習室1、ホール1、和室2、ミーティングルーム1 鉄筋コンクリート造2階建・延面積1,330㎡
市立図書館 視聴覚ライブラリー	東洋町	事務室1、館長室1、一般閲覧コーナー1、小中学生閲覧コーナー1、幼児コーナー1、読書室2、参考室1、会議室1、研修室1、特別資料室1、書庫2、視聴覚室1、視聴覚器材室1 鉄筋コンクリート造3階建・延面積3,288㎡
プラザ萬象	東洋町	事務室1、応接室1、大ホール1、小ホール1(能舞台含む)、楽屋2、会議室4、和室4、茶室1、団体室13、多目的室1、配膳室1 鉄筋コンクリート造地上1階一部2階建・延面積6,605㎡
少年自然の家	野坂	事務室1、食堂1、スタッフルーム1、宿泊室20、和室4、研修室1、談話室1、大浴場1、中浴場1、体育館1、クラフト室1 鉄筋コンクリート造2階建・延面積2,500㎡
少年愛護センター	東洋町	事務室1、相談室1 延面積128㎡(併用施設)
ハートフル・スクール	赤崎	事務室1、学習室3、多目的室1、相談室1、ランチルーム1、体育館1 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)2階建・延面積2,309㎡
市民文化センター	桜町	大ホール1、小ホール1、和室1、多目的室1、練習室1、リハーサル室1、楽屋3、事務室1 鉄筋コンクリート造4階建地下1階・延面積5,312㎡
市立博物館	相生町	事務所2、展示室3、講堂1、地下室2、貴賓室1、収蔵庫3、学芸員室1、作業室1、鉄骨煉瓦造(一部鉄筋コンクリート造)3階建地下1階・延面積1406.183㎡
みなとつるが 山車会館	相生町	事務室1、山車展示室1、山車収納庫1、スクリーンシアター1、常設展示室1、ギャラリー1、研修室1、別館展示室1 鉄筋コンクリート造3階建・延面積1,537㎡ 別館木造2階建・延面積359㎡ 土蔵木造2階建・延面積60㎡

資料：生涯学習課、文化・交流推進課、各施設

市スポーツ施設

(令和7年3月31日現在)

施設名	所在地	施設内容
市立体育館	松葉町	鉄骨鉄筋コンクリート2階建、競技場1,462㎡(34m×43m) 観覧席収容人員1,279人、駐車場約60台
東浦体育館	阿曾	鉄筋コンクリート平屋建、競技場553㎡(28.5m×19.4m)
市営野球場	松島町	両翼90m、中堅106m、観覧席収容人員8,500人 駐車場4,506㎡
栗野スポーツ センター	長谷	体育館 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造2階建 競技場1,200㎡(37.5m×32m)、観覧席192席 運動場 敷地面積10,000㎡、夜間照明付(ソフトボール2面) 屋外便所、駐車場
金山体育館	金山	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建、競技場370㎡(25m×14.8m)
中郷体育館	羽織町	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造3階建 競技場1,200㎡(37.5m×32m)、観覧席85席、駐車場83台
中郷スポーツ 広場	羽織町	多目的広場7,016㎡(ゲートボール、グラウンド・ゴルフ等) 駐車場21台
きらめき スタジアム	若泉町	ソフトボール球場(ソフトボール・学童野球4面) 管理棟・夜間照明付・駐車場205台
武道館	曙町	鉄骨鉄筋コンクリート造3階建・柔道場405㎡、剣道場405㎡ 空手・拳法室81㎡
花城テニスコート	櫛川	砂入り人工芝コート6面、夜間照明付
花城プール	櫛川	25m6コース、水深0.9～1.0m
愛発プール	疋田	25m6コース、水深0.9～1.0m
学校開放 照明施設	気比中	清水町1 屋外運動場照明施設(軟式野球)
グラウンド・ゴルフ場 「リラ・グリーン」	高野	グラウンド・ゴルフ場8ホール×4コース

資料：スポーツ振興課、観光誘客課

図書館の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	蔵書数	貸出冊数
令和元年度	274,644冊	271,516冊
2年度	270,021冊	246,461冊
3年度	275,322冊	258,274冊
4年度	277,797冊	248,322冊
5年度	284,217冊	246,017冊
6年度	289,906冊	238,284冊

資料：市立図書館

総合運動公園

(令和7年3月31日現在)

施設名	施設内容
1.運動施設	
陸上競技場	トラック…ポリウレタン(全天候)舗装 フィールド人工芝 1周400m 8コース 収容人員…11,000人 日本陸連第3種公認
野球場	両翼97m 中堅122m 収容人員…15,000人
テニスコート	全天候型、センターコート1カ所 2面 一般コート3カ所 6面、 ウォールテニスコート1カ所
体育館	○第1競技場(38m×52m) ○第2競技場(32m×19m) ○研修室(1面鏡張り) ○幼児体育室
ゲート ボール場	○屋内コート2面(サンドフィルタイプ人工芝) ○屋外コート8面(クレイ舗装)
弓道場	○近的射場(射距離28m)10人立 ○遠的射場(射距離60m)6人立
プール	○屋内プール(温水)25m 8コース ○屋外プール50m 9コース (ともに日本水連公認) ○トレーニングルーム

2.レクリエーション施設

施設名	施設内容
多目的広場	135m×86m
ちびっ子広場	大型複合遊具、グラビティレール ふわふわドーム、砂場、休憩所7カ所 便所1カ所
ちびっ子グレンデ	人工芝グレンデ8m×50m及び6m×30m 四阿1基、シェルター1基
ローラーすべり台	総延長415m(7コース) シェルター2、ベンチ11カ所他

3.修景池

施設名	施設内容
芝生広場	ハツ橋、浮見堂、太鼓橋、 花植栽(ショウブ)

資料：総合運動公園

文化財

◎国指定文化財 21 件

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

種 別	区 分	名称及び員数	所在地	指定年月日
国宝	工芸品	朝鮮鐘 1口	常宮	昭27.11.23
重要文化財	絵 画	絹本着色 主夜神像 1幅	原	明33. 4. 7
〃	〃	〃 観経变相曼荼羅図 1幅	〃	明33. 4. 7
〃	〃	〃 阿弥陀如来像 1幅	〃	明34. 8. 2
〃	建造物	氣比神宮大鳥居 1基	曙町	明34. 3.27
〃	〃	西福寺御影堂 阿弥陀堂 書院及び庫裏 3棟	原	平20. 6. 9
〃	書 跡	西福寺一切経観進経 25巻	原	大 3. 4.17 (国)昭41.6.11
〃	〃	紙本墨書 般若心経 1巻	〃	大 3. 4.17
〃	典 籍	奥の細道 附 細道伝来記 各1冊	新道	昭47. 5.30
〃	工芸品	孔雀鍍金経箱 1合	原	平 5. 1.20
〃	建造物	旧大和田銀行本店本館 附 建築図面23枚 暖房工事設計図1冊 昇降機 1式 1棟	相生町	平29. 2.23
〃	古文書	西福寺文書(五百五十六通) 556通	原	令 6. 8.27
重要無形 民俗文化財		敦賀西町の綱引き	相生町	昭61. 1.14
記念物	史 跡	金ヶ崎城跡	金ヶ崎町	昭 9. 3.13
〃	〃	武田耕雲斎等墓	松島町2丁目	昭 9.12.28
〃	〃	中郷古墳群	吉河・坂下	昭63. 3.23
〃	〃	玄蕃尾城(内中尾山城)跡	刀根・滋賀県長浜市	平11. 7.13
〃	名 勝	氣比の松原	松島・松川	昭 3. 6.28
〃	〃	西福寺書院庭園	原	昭 7. 4.19
〃	〃	柴田氏庭園	市野々町1丁目	昭 7. 4.19 (国)平19.7.26
〃	〃	おくのほそ道の風景地 けいの明神(氣比神宮境内)	曙町	平28.10. 3
(〃)	(特別天然記念物カモシカ)		(敦賀市全域)	(昭30.2.15)

資料：文化・交流推進課

◎市指定文化財 146 件

○有形文化財 102 件

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

建造物

名 称	員数	所在地	指定年月日
沓見宝塔(石造)	1基	沓 見	平 8. 6.11
小刀根トンネル	1基	刀 根	平 8. 6.11
西福寺境内建物	5棟	原	平10. 1.13
永貴寺九重塔(石造九重塔)	1基	栄新町	平13.10.10
旧敦賀港駅ランプ小屋	1棟	金ヶ崎町	平29. 4.17
水戸烈士記念館(旧餅蔵) 附 陳札1枚	1棟	松島町2丁目	令 2.11. 6
眼鏡橋(穴田暗渠)	1基	鉄輪町2丁目	令 6. 2.14

絵画

名 称	員数	所在地	指定年月日
壁画著色 観音像図	1面	松島町2丁目	昭29. 5.20
絹本墨画 風竹図	1幅	原	昭29. 6.17
絹本着色 阿弥陀来迎図	1幅	栄新町	昭31. 4. 1
絹本着色 十六羅漢図(額装)	15枚	松島町	昭33. 3.28
絹本着色 仏涅槃図	1幅	松島町	昭33. 3.28
絹本着色 仏涅槃図	1幅	原	昭34.10. 5
絹本着色 観経曼荼羅図(正宗分)	1幅	原	昭34.10. 5
紙本着色 鐙引図六曲屏風 内海元紀筆	1隻	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本着色 架鷹図六曲屏風 二代橋本長兵衛筆	1双	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本着色 桃園三傑図模 山水図模 今村公龍筆	4面 4面	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本着色 架鷹図六曲屏風	1双	樫曲	昭38. 7.15
板絵著色 神功皇后三韓出征図絵馬 内海元孝筆	1枚	山	昭40. 7. 5
紙本着色 楓下游鯉図六曲屏風 内海吉堂筆	1双	相生町	昭42. 8. 9
絹本着色 阿弥陀二十五菩薩来迎図(額装)	1枚	原	昭59. 3. 1
紙本着色 竹虎図模	8面	原	昭59. 3. 1 (国)平18.4.12
紙本淡彩 紙鶴図模	4面	原	昭59. 3. 1

絵画

名 称	員数	所在地	指定年月日
紙本墨画 山水図模	4面	原	昭59. 3. 1
紙本着色 商山四皓図模	8面 貼付1面	原	昭59. 3. 1
紙本着色 不動明王図 一宮長常筆	1幅	相生町	昭59. 3. 1
紙本着色 花卉図模 曲水図模 内海元孝筆	5面 5面	相生町	昭61. 2.26
紙本墨画 枯木に鷹図 二代橋本長兵衛筆	1幅	相生町	昭61. 2.26
紙本着色 一宮長常画像 勝山琢眼筆	1幅	相生町	平元. 3.10
絹本墨画 十一面観音像	1幅	原	平 2. 3.12
紙本着色 架鷹図六曲屏風 初代橋本長兵衛筆	1双	相生町	平14. 7.10

彫刻

名 称	員数	所在地	指定年月日
木彫猿田彦面(天文十年紀久次の墨書)	1面	曙町	昭29. 4.25
木造 聖観世音菩薩坐像	1軀	鋳物師町	昭29.12.21
木造 聖観世音菩薩立像	1軀	山泉	昭31. 4. 1
能面尉(銘イセキ)	1面	曙町	昭31. 4. 1
木造 十八羅漢坐像	18軀	松島町	昭33. 3.28

◎県指定文化財 31 件

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

種 別	区 分	名称及び員数	所在地	指定年月日
有形文化財	工芸品	日本刀外装 1口	三島町1丁目	昭31. 3.12
〃	〃	八十一経経版木 6枚	原	昭40. 5.18
〃	〃	木製加飾腰高障子 12枚	松島町2丁目	平 6. 5.20
〃	〃	銅鑿口正平丁酉年銘 1口	色浜(相生町)	平26. 3.28
〃	彫刻	木造釈迦如来坐像 1軀	刀根	昭55. 3.11
〃	〃	木造不動明王立像 1軀	御名	平18. 4.25
〃	〃	木造毘沙門天立像 1軀	御名	平18. 4.25
〃	絵画	絹本着色観経曼荼羅図(序文) 1幅	原	昭55. 3.11
〃	〃	紫絹金銀泥給阿弥陀八大菩薩像 1幅	神楽町1丁目	平12. 3.21
〃	〃	絹本着色 放光菩薩像 1幅	原(相生町)	平28. 3.25
〃	〃	紙本墨画仙人高士図 6幅	相生町	令 3. 9. 7
〃	〃	絹本着色打它宗賢像 1幅	平和町	令 3. 9. 7
〃	〃	紙本着色架鷹図六曲屏風 初代橋本長兵衛筆	三島町1丁目	令 6. 5.14
〃	建造物	常宮神社本殿・拝所・中門 3棟	常宮	昭57. 4.23 (国)平21.3.31
〃	〃	高德寺本堂 1棟	神楽町2丁目	昭57. 4.23
〃	〃	天満神社 本殿・石の間・拜殿 3棟	栄新町	平28. 3.25
〃	考古資料	深山寺経塚出土品 101点	結城町	平24. 3.23
民俗文化財	有形民俗文化財	色浜の産小屋 1棟	色浜	昭50. 6. 3
〃	無形民俗文化財	太鼓踊り(諏訪神社)	池河内	昭28. 3.19
〃	〃	赤崎獅子舞(八幡神社)	赤崎	昭37. 5.15
〃	〃	八幡神社の彼岸祭	関	昭37. 5.15
〃	〃	相撲甚句(利根八幡神社)	阿曾	昭40. 5.18
〃	〃	野坂だのせ祭り	野坂	平 6. 5.20
〃	〃	沓見御田植祭	沓見	平20. 2.22
記念物	史跡	穴地藏古墳	柳川	昭53.10.11
〃	〃	立洞古墳(2号墳)	井川	昭54. 2. 6
〃	〃	足壇城跡	足田	昭29.12. 3
〃	〃	洲崎の高燈籠 1基	川崎町	平 4. 5. 1
〃	天然記念物	休岩寺のソテツ 7株	大比田	昭29.12. 3
〃	〃	瀬ノ河内のカツラ 1株	瀬河内	昭39. 6. 5
〃	〃	明神崎の自生モクゲンジ 1群	明神崎東海岸	平 9. 4.25

資料：文化・交流推進課

彫刻

名 称	員数	所在地	指定年月日
木造 十一面観世音菩薩立像	1軀	大 蔵	昭52.2.24
木造 地藏菩薩坐像	1軀	刀 根	昭52.2.24
木造 持国天立像	1軀	刀 根	昭52.2.24
木造 毘沙門天立像	1軀	刀 根	昭52.2.24
楓樹に雉子図・欄間 高村光雲作	一对	元町(相生町)	昭57.12.14

工芸品

名 称	員数	所在地	指定年月日
梵鐘(時鐘・寛文五年紀)	1口	金ヶ崎町	昭33. 3.28
脇差 肥前国住宗次作	1口	杉津	昭33.3.28
同拵若本昆寛作総金具	1口		
赤銅七々子地 総金具太刀拵	1口	蓬萊町(相生町)	昭33. 3.28
獅子・人物文綴織壁掛	1枚	松島町	昭33. 3.28
剣 越前敦賀住 藤原宗吉作(正保三年紀)	1口	三島町1丁目	昭38. 7.15
人物図三所物(縁頭・目貫・小柄) 一宮長常作	1揃	角鹿町(相生町)	昭38. 7.15
黒呂色漆胡脇差拵 縁頭 一宮長常作 拵 吉岡因幡作	1口	角鹿町(相生町)	昭38. 7.15
黒漆内朱漆塗時給 膳 (柿谷半月和歌・草花図)	1揃 12客分	角鹿町(相生町)	昭38. 7.15
短刀 越州敦賀光行作(嘉慶二十年紀)	1口	角鹿町(相生町)	昭40. 7. 5
寒山鉄拐図鐙 一宮長常作	1枚	三島町1丁目	昭48. 4.16
剣 二代・越前康継作(寛永二十年紀)	1口	相生町	昭61. 2.26
薙刀・敦賀住下総守 藤原宗吉作	1口	堂	昭62. 7.20
太刀 越州敦賀住盛重作	1口	相生町	平 2. 3.12

書跡

名 称	員数	所在地	指定年月日
紙本墨書 般若心経	1巻	三島町1丁目	昭33. 3.28
紙本墨書 長歌 山田正秋書	1幅	三島町1丁目	昭40. 7. 5
紙本墨書 大般若経第二百七十一 (仁治二年五月廿二日 沙門良俊書写奥書)	1巻	相生町	昭59. 3. 1
紙本墨書 松尾芭蕉色ヶ浜遊記 神戸等裁書	1幅	色浜 (相生町)	平元. 3.10

古文書

名 称	員数	所在地	指定年月日
秦古文書 (正安三年から慶長二年まで)	37通	手	昭29.12.21 (道) 62.4.9
刀根古文書 (文明元年から寛永二十一年まで)	116通	江良	昭31. 4. 1 (道) 33.3.28 (道) 62.4.9
永建寺古文書 (徳治三年から天文十年まで)	15通	松島町	昭33. 3.28 (道) 62.4.9
善妙寺古文書 (嘉慶二年から元龜四年まで)	29通	神楽町1丁目	昭34.10. 5
敦賀馬借座役用記等諸記録 敦賀酒屋仲間文書 (天和元年から明治十年まで)	15冊 85点	三島町1丁目 相生町	昭48. 4.16 平13. 7.18

考古資料

名 称	員数	所在地	指定年月日
向出山古墳出土品	一括	三島町1丁目	昭34.10. 5
深山寺経塚出土品	2点	三島町1丁目	昭34.10. 5
金ヶ崎経塚出土品	3点	金ヶ崎町	昭34.10. 5
大塚神社経塚出土品	一括	結城町	平28. 6. 1

歴史資料

名 称	員数	所在地	指定年月日
紙本著色 氣比神宮古図	1幅	曙町	昭29. 4.25
脇差 (武田耕雲斎所用)	1口	松原町 (相生町)	昭29. 4.25
短刀 (菊池千本槍・武田耕雲斎所用)	1口	松原町 (相生町)	昭29. 4.25
紙本著色 西福寺古図	1幅	原	昭29. 6.17
竹杖 (松尾芭蕉所用)	1本	相生町	昭29.12.21
旧鞠山藩領白細書	5冊	三島町1丁目	昭33. 3.28
紙本墨書 大日本史上表副本	1通	三島町1丁目	昭33. 3.28
唐仁橋山車	1基	相生町	昭36. 3.20
紙本墨画 門ヶ崎図 内海元孝筆	1幅	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本墨書 俳句・和歌懐紙 日記書	1幅	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本墨画 燕図画賛 島計富筆	1幅	三島町1丁目	昭38. 7.15

歴史資料

名 称	員数	所在地	指定年月日
版画 紙漣図 内海元孝画 大名等沐浴札及び 加賀藩宿陣札	1幅 12枚	三島町1丁目	昭38. 7.15 昭38. 7.15
板絵著色 大江山酒呑童子図絵 馬 鳴海鶴陰筆	1枚	三島町1丁目	昭40. 7. 5
紙本墨書 船中捉心得書	1巻	三島町1丁目	昭40. 7. 5
定広院墓地の石仏 板絵著色 北前船図絵馬 (文化元年紀)	33軀 1枚	疋田 三島町1丁目	昭42. 8. 9 昭42. 8. 9
紙本著色 敦賀町図	1葉	三島町1丁目	昭42. 8. 9
紙本著色 敦賀県管内町図 敦賀西小学校沿革誌	17葉 44冊	三島町1丁目 結城町	昭42. 8. 9 昭42. 8. 9
紙本墨書 敦賀幸若屋敷図 陣羽織及び軍扇 (武田耕雲斎所用)	1幅 2点	三島町2丁目 松原町 (相生町)	昭46.12.20 昭46.12.20
金ヶ辻子山車	1基	相生町	昭46.12.20
紙本墨画 野菜図 一宮長常筆	2枚	三島町1丁目	昭48.4.16
紙本著色 人物花鳥図画帳 橋本守忠筆	1冊	三島町1丁目	昭48. 4.16
紙本著色 武田耕雲斎画像 須木直正筆	1幅	松原町 (相生町)	昭48. 4.16
御所辻子山車	1基	元町 (相生町)	昭55. 8.15
版本 敦賀名勝詩 清化堂道碩著 (元禄五年版)	1冊	相生町	昭59. 3. 1
絹本著色 敦賀津図 内海元紀筆	1幅	相生町	昭62. 7.20
鐘塚 附 版本 白鳥集	1基	金ヶ崎町	平28. 6. 1
こけら経 附 こけら経片 3枚	1束	公文名 (相生町)	平29. 4.17
蕉翁宿閑係資料	5点	相生町	令元. 6.17

典籍

名 称	員数	所在地	指定年月日
敦賀志 石塚資元著 氣比宮社記 平松周家著	4冊 9冊	三島町1丁目 曙町 (相生町)	昭33. 3.28 平20.11.14

〇民俗文化財4件

名 称	所在地	指定年月日
松島さし踊り	松島町	昭55.11.15
すてな踊り	敦賀市	昭59. 3. 1
氣比神社の春祭り・秋祭り	刀根	平10. 1.13
初午祭り	山	平10. 3.11

〇記念物40件

史跡

名 称	所在地	指定年月日
駐軍の碑	松島町 (松原公園)	昭29.12.21
武田耕雲斎本陣跡	新保	昭34.10. 5
瓜生保戦死の地	檜曲	昭36. 3.30
明治天皇檜曲御小休所	檜曲	昭38. 7.15
衣掛山1号墳	堂	平元. 3.10
市野々柴田氏屋敷	市野々町1丁目	平11. 2. 1
宮山古墳群	山泉	平18. 4.12

名勝

名 称	所在地	指定年月日
幸若遺跡庭園	三島町2丁目	昭31. 4. 1
常宮のオウム岩	常宮 (西方ヶ岳中腹)	昭34.10. 5
門ヶ崎	白木	平25. 4.12

天然記念物

名 称	所在地	指定年月日
奥麻生・日吉神社のケヤキ	奥麻生	昭31.12.18
長者屋敷のスギ	奥麻生	昭31.12.18
鉢伏山のカツラ	阿曾	昭31.12.18
赤崎・八幡神社のカゴノキ	赤崎	昭31.12.18
金山彦神社のイチチョウ	金山	昭31.12.18
金山彦神社のハゼノキ	金山	昭31.12.18
関・八幡神社のツバキ (一群)	関	昭31.12.18
甘棠園のヤマモモ	市野々町1丁目	昭40. 7. 5
永覚寺のイブキ	金ヶ崎町	昭48. 4.16
小森神社のヤブニッケイ	大比田	昭48. 4.16
谷・八幡神社のスダジイ	谷	昭48. 4.16
奥麻生・菅野氏のイチイ	奥麻生	昭48. 4.16
氣比神社のツガ	刀根	昭48. 4.16
久豆弥神社のスギ (2株)	菺見	昭52. 2.24
曾々木・八幡神社のスギ (2株)	曾々木	昭56.11.19
市橋・日吉神社のスダジイ	市橋	昭56.11.19
大比田観音堂のタブノキ	大比田	昭56.11.19
小森神社のケヤキ	大比田	昭56.11.19
貴船神社のタブノキ	元比田	昭56.11.19
小河・寺谷氏のウラジロガシ	小河	昭56.11.19
西福寺のスダジイ (2株)	原	昭58. 4. 1
新善光寺のキャラボク	井川	昭58. 4. 1
曾々木・八幡神社のアカガシ	曾々木	昭58. 4. 1
氣比神宮のユーカリノキ	曙町	昭58. 4. 1
田結神社のスダジイ (2株)	田結	昭58. 4. 1
野坂・柴田氏庭園のヤマモモ	野坂	平元. 3.10
山・稻荷神社のウラジロガシ	山	平元. 3.10
甘棠園のクスノキ	市野々町1丁目	平元. 3.10
杉著・山神社のトチノキ	杉著	平 2. 3.12
助生野・剱神社のカゴノキ	助生野	平 5. 1.12

資料：文化・交流推進課

〇登録文化財19件

区分	名 称	員数	所在地	登録年月日
建造物	旧紐育スタンダード石油会社倉庫 北 棟	1棟	金ヶ崎町	平21. 1. 8
〃	旧紐育スタンダード石油会社倉庫 南 棟	1棟	金ヶ崎町	平21. 1. 8
〃	旧紐育スタンダード石油会社倉庫 煉瓦塀	1基	金ヶ崎町	平21. 1. 8
〃	旧敦賀倉庫株式会社 新港第一号・第二号・第三号倉庫	1棟	蓬萊町	平26. 4.25
〃	旧北陸線檜曲トンネル	1基	檜 曲	平28. 2.25
〃	旧北陸線葉原トンネル	1基	葉原～阿曾	平28. 2.25
〃	旧北陸線鮎ヶ谷トンネル	1基	阿 曾	平28. 2.25
〃	旧北陸線曾路地谷トンネル	1基	阿曾～杉津	平28. 2.25
〃	旧北陸線農山谷暗渠	1基	横 浜	平28. 2.25

区分	名 称	員数	所在地	登録年月日
建造物	旧北陸線第一観音寺トンネル	1基	横浜～大比田	平28. 2.25
〃	旧北陸線第二観音寺トンネル	1基	大比田	平28. 2.25
〃	旧北陸線曲谷トンネル	1基	大比田	平28. 2.25
〃	旧北陸線芦谷トンネル	1基	大比田～元比田	平28. 2.25
〃	旧北陸線伊良谷トンネル	1基	元比田	平28. 2.25
〃	旧北陸線山中トンネル	1基	元比田～南越前町山中	平28. 2.25
〃	立石碑灯台	1基	立石	平29. 5. 2
〃	立石碑灯台附障	1基	立石	平29. 5. 2
〃	旧大和田銀行本店社屋	1棟	相生町	令 3. 2.26
登録無形 民俗文化財	敦賀のおぼろ昆布製造技術	-	敦賀市	令 7. 3.28

資料：文化・交流推進課

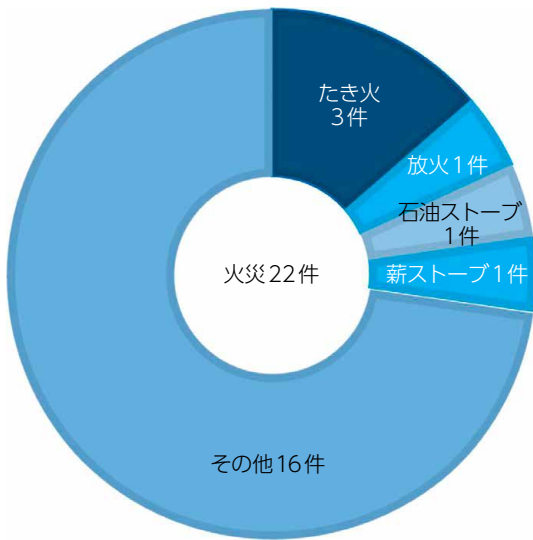
年中行事

行 事	月 日	ところ
敦賀西町の綱引き	1月第3日曜日	相生町
でんがらがん	2月1日	沓
野坂だのせ祭り	2月	野坂神社 (野坂)
毘沙講	2月～3月	白山神社 (高野)
初午祭り	2月～3月	稲荷神社 (山)
花換まつり	4月上旬	金崎宮
氣比神社の春祭り	4月第1日曜日	氣比神社 (刀根)
白銀神社の火祭り	5月上旬	白銀神社
菺見御田植祭	5月5日	信露真彦神社・久豆弥神社 (菺見)
御田植祭	6月15日	氣比神宮
大岩大権現祭	6月15日に近い日曜日	疋田
海水浴場海開き	7月	松原海水浴場他

行 事	月 日	ところ
総参祭	7月22日	氣比神宮・常宮神社
とうろう流しと大花火大会	8月16日	松原海岸
氣比神宮例祭・敦賀祭り	9月2日～ 15日	氣比神宮ほか
相撲甚句	敬老の日前日の日曜日	利根八幡神社 (阿曾)
赤崎獅子舞	敬老の日前日の日曜日	八幡神社 (赤崎)
御船遊管例大祭	10月10日	松原神社
御船遊管絃祭	10月20日	金崎宮・敦賀港
せんべい焼き	11月20日	天満神社 (栄新町)
みやあけ神事	12月第1日曜日	氣比神社 (刀根)
霜月祭り	12月上旬	八幡神社 (曾々木)
山の神講	12月上旬	大日堂 (赤崎)

資料：文化・交流推進課

令和6年 原因別火災件数(敦賀市)



消防関係者数

(令和7年4月1日現在)

消防署員数	消防団員数
149人	725 [34] (271 [23]) 人

() 内は敦賀市 [] 内は女性消防団員

資料: 敦賀美方消防組合

公設消防水利・消火栓数(敦賀市)

(令和6年12月31日現在)

消火栓	防火水槽	井戸
1,873	99	53

資料: 敦賀美方消防組合

通信施設等

(令和7年4月1日現在)

種別	119番回線(通話数)	FAX 119受信装置	緊急メール 119受信装置	Net110緊急通報システム	一般加入電話回線(通話数)	携帯電話(衛星携帯電話含む)	専用回線(警察、発着所等含む)	職員緊急メール装置	敦賀市防災メール(TonBoxメール)	減災コミュニケーションシステム	CATV防災放送	消防無線(基地、移動、携帯局含む)	県防災情報ネットワーク	県広域災害救急医療情報システム	防災気象情報システム(エムネット)	緊急情報ネットワークシステム(J-ALERT)	全国警報システム
数	12 (12)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	29 (24)	19 (13)	6 (6)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	150 (84)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	6 (4)	3 (1)

() 内は敦賀市

資料: 敦賀美方消防組合

消防用機械

(令和7年4月1日現在)

区分	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	小型動力ポンプ付水槽車	化学消防自動車	救急工作車	はしご付消防自動車	救急車	指令車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ	その他
敦賀消防署	4	2	1	1	1	1	4	3	—	2	9
敦賀消防団	10	—	—	—	—	—	—	—	12	—	—

資料: 敦賀美方消防組合

火災の状況(敦賀市)

(各年12月31日現在)

年別	火災件数			り災世帯数	り災人員	焼損棟数	建物焼損面積	死者	負傷者	損害額
	総数	建物	野外							
令和2年	14	8	6	10	15	12	415.32	2	4	38,078
3年	10	7	3	4	12	8	82.78	0	0	7,044
4年	15	8	7	8	21	14	164.04	1	2	17,973
5年	20	12	8	12	36	22	7,201.91	1	7	390,615
6年	22	9	13	5	12	11	137.02	1	1	40,092

資料: 敦賀美方消防組合

救急出動(敦賀市)

(各年12月31日現在)

年別	総数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
令和2年	2,333	11	0	7	150	30	9	373	4	36	1,472	241
3年	2,492	12	0	6	149	24	22	391	7	29	1,575	277
4年	2,865	17	1	8	196	34	18	435	8	33	1,841	274
5年	2,901	16	1	2	163	38	21	441	4	26	1,892	297
6年	2,971	20	1	6	154	35	25	471	6	24	1,930	299

資料: 敦賀美方消防組合

救助出動(敦賀市)

(各年12月31日現在)

年別	総数	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械事故	その他
令和2年	22	2	11	4	0	0	5
3年	19	1	9	5	0	0	4
4年	36	0	22	7	0	0	7
5年	22	1	13	1	0	1	6
6年	22	0	11	4	0	0	7

資料: 敦賀美方消防組合

交通事故

(各年12月31日現在)

年別	総事故件数	人身事故件数	死者数	負傷者数	物損事故件数
令和2年	1,526	85	5	91	1,441
3年	1,516	70	1	76	1,446
4年	1,554	92	6	100	1,462
5年	1,620	106	3	119	1,514
6年	1,619	95	4	107	1,524

資料: 生活安全課

●市の施設

〈市庁舎・関連施設〉

名 称	所 在 地	電 話
敦 賀 市 役 所	中央町2丁目1-1	21-1111
敦賀美方消防組合消防本部	中央町2丁目1-2	20-0119
市立敦賀病院	三島町1丁目6-60	22-3611
健康センター はぴふる	中央町2丁目16-52	25-5311
休日急患センター	中央町2丁目16-52	25-5311
敦賀市立看護大学	木崎78-2-1	20-5500
国民健康保険正田診療所	正田11-9-1	27-1106
国民健康保険東浦診療所	大比田34-16-1	28-1440
男女共同参画センター	本町2丁目1-20(南公民館3F)	23-5411
きらめきみなと館	桜町1-1	20-1100
敦賀きらめき温泉リラ・ポート	高野91-9-3	24-1126
敦賀赤レンガ倉庫	金ヶ崎町4-1	47-6612
人道の港 敦賀ムゼウム	金ヶ崎町23-1	37-1035
敦賀鉄道資料館	港町1-25	21-0056
敦賀駅交流施設 オルパーク	鉄輪町1丁目1-19	20-0689
学校給食センター	野神12-16	22-0410
児童文化センター	櫛川42-2-1	25-7879
児童センター	櫛川42-2-1	25-7879
キッズパーク つるが	神楽町2丁目2-4	22-8020
子育て総合支援センター	本町2丁目5-20	22-0147
栗野子育て支援センター	新和町1丁目3-10	25-5647
病児・病後児保育施設 はぴけあ	三島町1丁目4-24	23-2723
公設地方卸売市場	古田刈66-1303-1	24-1522
天筒浄化センター	天筒町5-9	24-0411
昭和浄水場	野神12-1	22-2279
清掃センター	櫛川88-1-2	21-1153
衛生処理場	昭和町1丁目4-19	25-1888
敦賀斎苑	金山3-1-1	22-5257
中池見人と自然のふれあいの里	榎曲79号奥堀切	20-1110
黒河農村ふれあい会館	山43-42	21-3445
農産物直売所 ふるさと夢市場	砂流24-45	21-1571
知育・啓発施設ちえなみき	鉄輪町1丁目5-32	47-5606
市民文化センター	桜町7-1	25-5125
市立博物館	相生町7-8	25-7033
みなとつるが山車会館	相生町7-6	21-5570
柴田氏庭園	市野々町1丁目723	22-8152

〈社会教育〉

名 称	所 在 地	電 話
生涯学習センター	東洋町1-1	25-8318
東浦公民館	五幡32-8-1	28-1251
北公民館	曙町11-91	24-1545
南公民館	本町2丁目1-20	22-2866
西公民館	三島町2丁目19-8	21-2700
東郷公民館(東郷コミュニティセンター)	井川33-12	22-0895
中郷公民館	羽織町36-1	22-0192
愛発公民館	正田37-1	27-1101
栗野公民館	御名53-19	22-0902
松原公民館	新松島町22-48	23-8990
図書館(視聴覚ライブラリー)	東洋町2-1	22-1868
プラザ 萬象	東洋町1-1	22-9711
少年自然の家	野坂80-15	24-0052
少年愛護センター	東洋町1-1	23-0189
ハートフル・スクール	赤崎39-8	22-7072

〈福祉〉

名 称	所 在 地	電 話
やまびこ園	長谷47-21	21-1133
子ども発達支援センター パラレル	櫛川41-2-3	22-7172
福祉総合センター あいあいプラザ	東洋町4-1	22-1700

〈スポーツ〉

名 称	所 在 地	電 話
総合運動公園	沓見149-1	23-6638
市立体育館	松葉町1-2	22-5244
東浦体育館	阿曾77-12	28-1001
金山体育館	金山58-13-1	21-1130
中郷体育館	羽織町34(坂下)	21-2060
市営野球場	松島町30-1	22-8155
花城テニスコート	櫛川39-3	24-2379
栗野スポーツセンター	長谷47-54	21-1710
武道館	曙町11-80	25-5820
きらめきスタジアム	若泉町9-3	21-0066
敦賀市グラウンド・ゴルフ場「リラ・グリーン」	高野91-9-3	24-1126

●県の施設

名 称	所 在 地	電 話
嶺南振興局二州企画振興室	中央町1丁目7-42	22-0002
嶺南振興局二州税務部	中央町1丁目7-42	22-0050
嶺南振興局二州農林部	中央町1丁目7-42	22-5027
嶺南教育事務所敦賀駐在	中央町1丁目7-42	24-0421
交通事故相談所敦賀相談所	中央町1丁目7-42	0776-20-0518
嶺南振興局敦賀土木事務所	中央町1丁目7-36	22-5448
嶺南振興局敦賀港湾事務所	桜町2-1	22-0369
嶺南振興局二州健康福祉センター	開町6-5	22-3747
嶺南振興局敦賀児童相談所	角鹿町1-32	22-0858
敦賀産業技術専門学院	道口19-2-1	22-0143
水産試験場	浦底23-1	26-1331
原子力環境監視センター	吉河37-1	25-6110
敦賀警察署	木崎12-18-1	25-0110

●国の施設

名 称	所 在 地	電 話
福井地方検察庁敦賀支部	松栄町7-28	22-0062
福井地方法務局敦賀支局	松栄町7-28	25-0174
文部科学省敦賀原子力事務所	松栄町7-28	23-1610
原子力規制庁 敦賀原子力規制事務所	金山99-11-47	25-8661
福井地方裁判所敦賀支部	松栄町6-10	22-0812
福井家庭裁判所敦賀支部	松栄町6-10	22-0812
敦賀簡易裁判所	松栄町6-10	22-0812
大阪税関敦賀税関支署	港町7-15	22-0025
中部運輸局福井運輸支局	港町7-15	22-0003
敦賀海上保安部	港町7-15	22-0191
敦賀税務署	鉄輪町1丁目7-3	22-1010
ハローワーク敦賀	鉄輪町1丁目7-3	22-4220
敦賀労働基準監督署	鉄輪町1丁目7-3	22-0745
福井森林管理署松原森林事務所	松栄町7-28	25-0210
近畿地方整備局敦賀国道維持出張所	開町3-28-1	22-5166
北陸地方整備局敦賀港湾事務所	松栄町7-28	22-2590

●その他の施設

名 称	所 在 地	電 話
敦賀商工会議所	神楽町2丁目1-4	22-2611
中日本高速機金沢支社敦賀保安・サービスセンター	井川17-8-1	25-5223
敦賀市社会福祉協議会	東洋町4-1	22-3133
(公社) 敦賀市シルバー人材センター	呉竹町2丁目13-18	24-1250
(財) 福井原子力センター	吉河37-1	23-1710
(公財) 若狭湾エネルギー研究センター	長谷64-52-1	24-2300
独立行政法人国立病院機構 敦賀医療センター	桜ヶ丘町33-1	25-1600
(株) 港都つるが観光協会	神楽町1丁目1-5	20-0015
敦賀郵便局	元町11-5	25-1002
日本年金機構敦賀年金事務所	東洋町5-54	23-9904

年代 (西暦)	事 項
崇神 65 年 (前 33)	朝鮮任那国の王子、都怒我阿羅斯等が来朝した。
成務 5 年 (135)	9 月 角鹿国造を定める。またこの頃、角鹿海直が配置された。
仲哀 2 年 (193)	2 月 角鹿に行幸あり行宮を興し筭飯宮という。神功皇后は角鹿を發し穴門へ向かわれた。
大宝 2 年 (702)	8 月 氣比神宮に仲哀天皇、神功皇后を合祀した。
和銅 6 年 (713)	5 月 角鹿の文字を敦賀と改めた。
天平 3 年 (731)	越前国正税帳に敦賀郡が初めて見える。
延暦 23 年 (804)	6 月 この頃、渤海国の使節、相次いで来貢したので松原客館が創置。
延元 元年 (1336)	10 月 後醍醐天皇の皇子、恒良・尊良両親王を奉じて新田義貞が金ヶ崎城にたてこもる。(翌年落城した)
正平 23 年 (1368)	8 月 良如、西福寺を建立した。
文安 2 年 (1445)	3 月 西福寺に勅願所の宣旨を賜わる。
元龜 元年 (1570)	4 月 織田信長が天筒山城を陥れ、翌日金ヶ崎城を開城した。
天正 元年 (1573)	8 月 朝倉勢は刀根坂で敗れ、正壇城、金ヶ崎城が落ち、義景は大野で自害し、信長は武藤秀秀を敦賀郡代官とした。
〃 3 年 (1575)	8 月 織田信長が敦賀に入る。翌日、羽柴秀吉・柴田勝家が杉津口に一揆を破った。
〃 17 年 (1589)	羽柴秀吉は大谷吉継を敦賀城主に任じた。
寛永 元年 (1624)	3 月 敦賀郡は一時公領となり、島田右京亮が代官となった。
〃 11 年 (1634)	7 月 酒井忠勝が小浜城主に任ぜられ、若狭敦賀郡・近江国高島郡を支配。
〃 16 年 (1639)	このころ西廻り航路が開かれ、入津する荷物は激減した。
正保 2 年 (1645)	7 月 氣比神宮の大鳥居を建立した。
元禄 2 年 (1689)	8 月 松尾芭蕉来敦、16 日色ヶ浜に遊ぶ。
享保 3 年 (1718)	12 月 町火消しの制を定める。
宝暦 6 年 (1756)	2 月 全国人口調査。
明和 7 年 (1770)	6 月 大干ばつ、大凶作、近郷 48 ヶ村民が蜂起、敦賀役所に迫った。
文政 10 年 (1827)	敦賀米会所を金辻子に置いた。
天保 8 年 (1837)	3 月 幸浜町から出火 670 軒焼失した。
嘉永 6 年 (1853)	150 日程雨が降らず、大干ばつとなる。
文久 3 年 (1863)	茶町海岸の砲台場完成、異国船の襲来に備えた。
元氏 2 年 (1865)	2 月 武田伊賀守らが、刑場の露と消えた。
明治 4 年 (1871)	7 月 藩を廃止し、敦賀県を置く。
〃 5 年 (1872)	10 月 就将小学校を創置する。学校の初めて明治末の小学校は 19 校に達した。
〃 9 年 (1876)	8 月 敦賀県を廃し、滋賀県に属した。
〃 11 年 (1878)	9 月 電信が開始された。
〃 12 年 (1879)	5 月 郡役所を置き郡長を任命した。
〃 14 年 (1881)	2 月 福井県が置かれ、敦賀は福井県の管轄に入った。
〃 14 年 (1881)	7 月 立石岬に灯台を設置し、20 日から点灯した。
〃 15 年 (1882)	3 月 敦賀・金ヶ崎の両停車場が設置された。
〃 17 年 (1884)	4 月 敦賀～長浜間の鉄道が開通した。
〃 19 年 (1886)	萬象閣を建設し、公会堂とした。(敷地は敦賀県当時の区会所の地)
〃 20 年 (1887)	5 月 小学校が初めて松原で運動会をした。
〃 21 年 (1888)	敦賀商工会が発足した。
〃 22 年 (1889)	4 月 町村制実施、京・津内・三島の 3 村を敦賀町に統合した。
〃 24 年 (1891)	5 月 ウラジオストクでシベリア鉄道起工式を挙行政した。
〃 26 年 (1893)	5 月 金崎宮鎮座式が挙行政され、勅使参向。
〃 28 年 (1895)	1 月 氣比神社官幣大社に昇格。(3 月 26 日に神社を神宮に改称)
〃 29 年 (1896)	7 月 敦賀～森田(福井)間に鉄道が開通する。
〃 29 年 (1896)	10 月 敦賀港、開港外貿易港に指定される。
〃 29 年 (1896)	11 月 税関出張所開庁、敦賀税務署を置く。
〃 32 年 (1899)	7 月 開港指定、翌年汽船武揚丸、牛荘から大豆、豆かすを初めて直輸入。
〃 34 年 (1901)	4 月 高等小学校 1 校、尋常小学校 2 校設置、商業補習学校も設けられた。
〃 35 年 (1902)	2 月 日本海命令航路が開設された。
〃 39 年 (1906)	6 月 町立商業学校が開校。
〃 39 年 (1906)	7 月 ロシアの東亜汽船が敦賀～ウラジオストク直通航路を開設し、1 日初入港した。
〃 40 年 (1907)	3 月 電灯がついた。
〃 42 年 (1909)	4 月 市内電話が開設。
〃 45 年 (1912)	6 月 金ヶ崎へ寝台列車が運転開始した。
大正 6 年 (1917)	6 月 小浜線の敦賀～十村間開通。
〃 7 年 (1918)	7 月 敦賀～清津間を政府命令航路として開始。
〃 9 年 (1920)	6 月 敦賀鉄道棧橋を設置した。
〃 9 年 (1920)	10 月 第 1 回国勢調査(人口約 38,380 人)
〃 14 年 (1925)	この年からラジオが聴取され、年々激増していった。
〃 15 年 (1926)	ソ連領事館開庁。
〃 15 年 (1926)	郡制廃止。
昭和 3 年 (1928)	松原を「氣比の松原」と称し、国の名勝に指定された。
〃 7 年 (1932)	松岡主席全権が欧州旅行のため敦賀港を出発。
〃 8 年 (1933)	大和田荘七翁が町庁舎を新築寄贈した。
〃 9 年 (1934)	12 月 東洋紡績(株)敦賀工場操業開始。
〃 12 年 (1937)	2 月 敦賀セメント(株)敦賀工場操業開始。

年代 (西暦)	事 項
昭和 12 年 (1937)	4 月 敦賀町、松原村を廃し敦賀市が誕生、臨時市長代理者森本一雄氏。
〃 12 年 (1937)	6 月 森本一雄氏が初代市長に就任。
〃 13 年 (1938)	12 月 若林義孝氏が第 2 代市長に就任。
〃 14 年 (1939)	10 月 じん芥焼却炉竣工。
〃 15 年 (1940)	4 月 県立敦賀中学校開校。
〃 16 年 (1941)	4 月 末原貴一郎氏が第 3 代市長に就任。
〃 17 年 (1942)	10 月 市立図書館開館。
〃 18 年 (1943)	12 月 湯山火葬場完成。
〃 19 年 (1944)	4 月 敦賀市の農業会が発足。
〃 20 年 (1945)	4 月 田保仁左衛門氏が第 4 代市長に就任。
〃 20 年 (1945)	7 月 空襲により市内中心部 2/3 以上を焼失。
〃 21 年 (1946)	9 月 敦賀商工会議所が再発足。
〃 22 年 (1947)	4 月 川原與作氏が第 5 代市長に就任。
〃 22 年 (1947)	7 月 市内バス(敦賀～松原)が開通。
〃 23 年 (1948)	4 月 県立敦賀高等学校(新制)創立。 敦賀～北海道定期航路が開設され、花咲丸が就航。
〃 24 年 (1949)	6 月 不二越鋳業(株)敦賀工場が操業開始。
〃 24 年 (1949)	7 月 開港 50 周年記念行事として「海の祭典」を催す。
〃 26 年 (1951)	1 月 敦賀港が重要港湾に指定される。
〃 26 年 (1951)	4 月 川原與作氏が第 6 代市長に就任。
〃 27 年 (1952)	4 月 日本ビーエスコンクリート(株)操業開始。
〃 27 年 (1952)	5 月 市制施行 15 周年記念式を行う。
〃 28 年 (1953)	11 月 漁港船だまり工事竣工。
〃 30 年 (1955)	1 月 近隣 5 ヶ村を編入合併し、新市が誕生。
〃 30 年 (1955)	4 月 畑守三四治氏が第 7 代市長に就任。
〃 31 年 (1956)	4 月 旧市内 132 町内を 46 町に整理統合。
〃 32 年 (1957)	10 月 敦賀～米原間の新線と交流電化開通。
〃 33 年 (1958)	6 月 日本～ナホト力定期航路寄港地に指定。
〃 33 年 (1958)	10 月 全市に国民健康保険を実施。
〃 34 年 (1959)	4 月 畑守三四治氏が第 8 代市長に就任。
〃 36 年 (1961)	1 月 呉羽紡績(株)ナイロン工場の誘致を決定。
〃 36 年 (1961)	2 月 文化会館が完成。
〃 36 年 (1961)	7 月 衛生処理場完成。
〃 37 年 (1962)	2 月 国鉄との間に温泉利用権の契約締結。
〃 37 年 (1962)	4 月 県立敦賀工業高等学校開校。
〃 37 年 (1962)	6 月 北陸トンネル(13.87km)が完成。(敦賀～福井間が電化開通)
〃 37 年 (1962)	7 月 敦賀有料道路開通。
〃 37 年 (1962)	10 月 東洋紡績(株)ポリプロピレン工場誘致決定。
〃 37 年 (1962)	11 月 敦賀半島に原子力発電所の建設予定地決定。 敦賀半島が若狭湾国定公園に編入される。
〃 38 年 (1963)	1 月 未曾有の豪雪(積雪 154cm)のため、市に雪害対策本部を設置。
〃 38 年 (1963)	3 月 市立敦賀病院改築工事竣工。
〃 38 年 (1963)	4 月 畑守三四治氏が第 9 代市長に就任。
〃 38 年 (1963)	6 月 永大産業(株)敦賀工場の誘致を決定。
〃 38 年 (1963)	9 月 1 万トン岸壁改修完成。
〃 39 年 (1964)	1 月 温泉の名称を「敦賀トンネル温泉」と命名。
〃 39 年 (1964)	4 月 市内 6 農協が合併。
〃 39 年 (1964)	5 月 柳ヶ瀬線が 80 年の歴史を閉じて廃線。
〃 39 年 (1964)	9 月 敦賀トンネル温泉簡易水道配湯構造物工事及び配管工事竣工。通水式挙行政。
〃 39 年 (1964)	12 月 市内 7 漁協が合併。
〃 40 年 (1965)	4 月 水戸市と姉妹都市盟約締結。
〃 40 年 (1965)	5 月 市立北幼稚園を開園。
〃 41 年 (1966)	8 月 敦賀電報電話局舎が完成し、ダイヤル式自動となる。
〃 41 年 (1966)	11 月 敦賀港湾合同庁舎が完成。
〃 42 年 (1967)	3 月 上水道第 1 次工事完成。
〃 42 年 (1967)	4 月 市制施行 30 周年記念式を行う。 矢部知恵夫氏が第 10 代市長に就任。
〃 43 年 (1968)	5 月 杉津・横浜海岸が越前加賀国定公園に指定される。
〃 43 年 (1968)	7 月 市立体育館が竣工。
〃 43 年 (1968)	8 月 動力炉・核燃料開発事業団が敦賀半島の原発サイトを「新型転換炉」の建設候補地に選定。
〃 43 年 (1968)	9 月 日本ニッケル敦賀工場操業を開始。
〃 43 年 (1968)	10 月 第 23 回国体バレーボールと軟式野球競技を本市で開催。天皇・皇后両陛下ご来敦。
〃 43 年 (1968)	11 月 港大橋竣工。
〃 43 年 (1968)	12 月 ソ連邦極東知事団敦賀視察。
〃 44 年 (1969)	5 月 市長ら一行 4 人、ソ連沿岸州等を訪問。
〃 44 年 (1969)	8 月 大型フェリーの敦賀寄港内定。 開港 70 周年記念「つるが港まつり」を開催。
〃 44 年 (1969)	10 月 日本原子力発電(株)敦賀発電所 1 号機臨界。 この年入港ソ連船が 61 隻に達し、開港以来の新記録となる。
〃 45 年 (1970)	3 月 日本原子力発電(株)敦賀発電所が営業運転をはじめ。
〃 45 年 (1970)	6 月 麻生口にゴミ焼却場竣工。
〃 45 年 (1970)	7 月 嶺南地区広域市町村圏が地方生活圏に指定される。

年代（西暦）	事 項
昭和45年（1970） 8月	大型フェリー「すずらん丸」の就航記念式と川崎・松栄A岸壁工事竣工式を行う。
45年（1970） 10月	北陸自動車道（高野～滋賀県柳ヶ瀬）路線発表。
45年（1970） 11月	敦賀美方消防組合本部発足。
45年（1970） 12月	動力炉・核燃料開発事業団の新型転換炉「ふげん」起工式。
46年（1971） 3月	西浦小立石分校・西愛発小駄口分校廃校。
46年（1971） 4月	矢部知恵夫氏が第11代市長に就任。 「養護老人ホーム」改築と「老人いこいの家」新築。
46年（1971） 7月	訪ソ青年の船出航。
46年（1971） 10月	原子力問題と自治調査団に市長・市議ら5人欧米視察に参加。
47年（1972） 3月	児童養護施設慈松園改築成る。
47年（1972） 4月	財団法人「福井原子力センター」発足。
47年（1972） 5月	「科学技術庁福井原子力連絡調整官事務所」設置される。
47年（1972） 7月	戦後初の対ソ運輸出品（繊維）積出し。 松原小学校・ハバロフスク市第47小学校と日ソ愛鳥姉妹校に決定。
47年（1972） 8月	市営第1プール完成。
47年（1972） 9月	県水産試験場浦底に移転。
47年（1972） 10月	市の乳児医療費の支給制度開始。
47年（1972） 11月	北陸トンネル列車火災発生、市にり災害救援対策本部設置される。
47年（1972） 12月	木崎保育園が開園。
48年（1973） 3月	五幡小学校廃校。
48年（1973） 4月	重症児童園施設松原児童館開館。 粟野公民館完成。
48年（1973） 5月	市長日朝友好福井県代表团として朝鮮民主主義人民共和国を訪問する。
48年（1973） 6月	PCB汚染対策本部設置される。 中郷公民館完成。
48年（1973） 7月	市制施行35周年を記念して勤労福祉センター・働く婦人の家・勤労青少年体育センター完成。 O・A・トロヤノフスキー駐日ソ連大使来敦。 湖西線（山科～近江塩津間）開通し、北陸本線に接続。
48年（1973） 9月	南小学校校舎の全面改築工事完成。
48年（1973） 10月	川崎・松栄岸壁に鉤石上屋8.5トンクレーン完成。
48年（1973） 11月	北陸新幹線整備計画決定。（若狭ルートに決まる）
49年（1974） 3月	上水道第2次工事完成。敦賀平野一体に給水可能。 つるが保育園完成。 桜ヶ谷公園完成。
49年（1974） 4月	公共下水道の基本計画決まる。
49年（1974） 5月	原子力発電訓練センター竣工式。
49年（1974） 6月	東郷公民館が完成。
49年（1974） 8月	市営第2プール完成。
49年（1974） 9月	国民健康保険東浦診療所開設。（阿曾）
49年（1974） 11月	旧市庁舎の閉庁式を行う。 新市庁舎竣工と5ヶ村合併20周年の記念式典を行う。 敦賀美方消防組合の本部庁舎竣工。
50年（1975） 3月	国鉄湖西線が全面開通。 国民健康保険東浦診療所大比田に移転新築。
50年（1975） 4月	松原公民館が開館。 粟野保育園が開園。 市営と畜場が全面改築完成。 矢部知恵夫氏が第12代市長に就任。
50年（1975） 7月	市の人口が6万人を突破。
50年（1975） 12月	愛発公民館が完成。 相生町商店街アーケード完成により敦賀駅前からのアーケード総延長2,788mとなる。
51年（1976） 2月	敦賀～ワニノ間の定期貨物配船第一船が入港。
51年（1976） 3月	ごみ焼却場30トン増設工事完成。
51年（1976） 4月	粟野南小学校開校。 櫛川保育園が開園。
51年（1976） 5月	大学・高校誘致期成同盟会設立総会開く。
51年（1976） 7月	第1回福井県婦人の船および訪ソ青年の船が出港。 市民文化センター建設のため旧市庁舎の惜別式を行う。
51年（1976） 8月	市長ら福井県ソ連邦極東地方港湾調査団は港湾調査および姉妹都市提携の議定書を交わす。
51年（1976） 10月	福井県原子力センター落成。 敦賀港の異常潮位（108cm）で市に水防本部を設置。
52年（1977） 1月	敦賀～ワニノ間の定期貨物配船が月2便に増便。
52年（1977） 2月	積雪が136cmを記録し、昭和38年以来的豪雪となる。
52年（1977） 3月	青少年健全育成都市宣言を行う。
52年（1977） 4月	市立図書館が移転新築し完成。
52年（1977） 7月	市民福祉会館の竣工式を行う。
52年（1977） 8月	敦賀市高校新設準備委員会が発足。
52年（1977） 9月	敦賀港とヴォストーチヌイ港の姉妹港盟約締結の調印式を行う。
52年（1977） 11月	市民文化センターが完成し、市制40周年・市民文化センター落成記念式典を行う。

年代（西暦）	事 項
昭和52年（1977） 12月	北陸自動車道の敦賀～武生間開通式を行う。 新総合計画の策定。
53年（1978） 3月	初の国産発電用原子炉「ふげん」臨界。 金ヶ崎（天筒山）公園展望台完成。
53年（1978） 4月	岡山、萌生野公園が完成。 市民健康センター（休日急患センター、母子健康センター）落成。
53年（1978） 5月	青少年錬成センター竣工。
53年（1978） 6月	敦賀、韓国北坪青年会議所姉妹盟約締結。
53年（1978） 7月	経済友好訪中視察団中国訪問。 粟野南小学校総合落成式を行う。
53年（1978） 8月	市営野球場ナイター施設完成（粟野、角鹿中学校にも完成）。 歴史民俗資料館開館。 協賛駅周辺整備連絡協議会発足。
53年（1978） 9月	第7回水産増殖に関する日ソ合同シンポジウム開催。 河野海岸有料道路開通。
53年（1978） 11月	敦賀高等学校校舎改築竣工。
54年（1979） 4月	松陵幼稚園開園。 市営上屋竣工式を行う。 一般廃棄物最終処分場竣工。 高木孝一氏が第13代市長に就任。
54年（1979） 5月	中日友好使節団来敦。
54年（1979） 7月	市営庭球場竣工。国際児童年記念訪ソ少年の船出航。
54年（1979） 8月	少年自然の家竣工。
54年（1979） 9月	開港80周年記念式典。 ソ連邦ナホトカ市民親善友好使節団来敦（195人） 新港建設の調査始まる。 咸新小学校池ノ河内分校校舎完成。
55年（1980） 4月	市長ら韓国親善訪問団一行東海市生誕祝賀式に出席 姉妹都市縁組の議定書に調印。 北陸自動車道敦賀～米原間開通。 岡山保育園開園。 資源エネルギー庁敦賀美浜管理専門官事務所開設。 勤労青少年ホーム落成。
55年（1980） 5月	こどもの国（児童文化センターなど）竣工。 中央公民館竣工。 市民憲章の制定。 第三次市総合計画基本構想市長に答申。
55年（1980） 7月	気比中学校校舎総合落成式。
55年（1980） 8月	市営第3プール完成。 石炭火力発電所誘致構想発表。 中国国際貿易促進委員会王耀庭氏ら一行来敦。
55年（1980） 10月	第1回敦賀マラソン開く。 帆船「海王丸」寄港一般公開。
55年（1980） 11月	敦賀美方消防組合発足10周年記念式典。 日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機建設に係る公開ヒアリング。
55年（1980） 12月	電子計算機本稼動。
56年（1981） 1月	56豪雪積雪198cmを記録（明治30年敦賀測候所開設以来最高）
56年（1981） 3月	第三次総合計画の策定。 駅前広場改修工事完成。
56年（1981） 4月	韓国東海市との姉妹都市盟約締結調印式。 日本原子力発電(株)敦賀発電所の放射能漏えい事故。
56年（1981） 5月	新和保育園落成。
56年（1981） 6月	金山バイパス（岡山～野神間）開通式。 松原小学校校舎改築総合落成式。
56年（1981） 7月	新敦賀瓦斯「敦賀ガス」として再スタート。 黒河小学校校舎改築総合落成式。 松陵中学校校舎改築総合落成式。
56年（1981） 8月	置県100年記念で小浜線に蒸気機関車走る。
56年（1981） 9月	ソ連邦ナホトカ市民親善使節団一行200人来敦。 南極観測船「ふじ」入港一般公開。
56年（1981） 11月	第17回全日本菊花連盟全国大会開催。 葉原保育園開園。 ポリヤンスキー駐日ソ連邦大使来敦。
56年（1981） 12月	北陸電力(株)「石炭火力発電所」建設のための環境調査申し入れ。
57年（1982） 1月	新港湾建設工事の起工式。
57年（1982） 3月	初めての中国炭定期配船「サン・アルケス号」1万165トンが入港。
57年（1982） 4月	中央小学校開校。 気比保育園移転改築完成。 日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機着工。
57年（1982） 7月	高速増殖原型炉「もんじゅ」公開ヒアリング開催。
57年（1982） 9月	防災行政無線設置。
57年（1982） 10月	ソ連邦ナホトカ市において姉妹都市盟約締結調印。
57年（1982） 11月	中央小学校総合落成式。

年代（西暦）	事 項
昭和58年（1983）	2月 笙の川に中央橋完成。
〃 58年（1983）	3月 二夜の川都市下水路「松島ポンプ場」完成。 第1回市民綱引き大会開く。 三島保育園を廃止し三島南保育園を三島保育園に。 敦賀市福祉基金設置。 岡山保育園を中郷保育園に改称。
〃 58年（1983）	4月 津内保育園と乳児保育園を統合し本町保育園が開園。 高木孝一氏第14代市長に就任。
〃 58年（1983）	5月 第1回親子のフェスティバル開く。 浩宮殿下若狭路（本市では西福寺・柴田氏庭園）を訪問。 国立療養所敦賀病院の改築工事完成。 高速増殖原型炉「もんじゅ」設置許可。
〃 58年（1983）	7月 公共下水道供用開始。天筒浄化センター完成通水式。 第1回市民すてな祭り開く。
〃 58年（1983）	9月 ソ連邦ナホトカ市に姉妹都市盟約調印記念として日本庭園を造る。 ソ連邦ナホトカ市民親善使節団来敦。
〃 58年（1983）	10月 移動図書館「なかよし号」巡回サービス開始。
〃 58年（1983）	12月 三島会館移転新築完成。北電「石炭火力発電所」建設に同意。
〃 59年（1984）	3月 西愛発小・中愛発小・東愛発小が廃校に。
〃 59年（1984）	4月 愛発小・中学校開校。 学校給食センター完成。 東浦体育館竣工。
〃 59年（1984）	5月 敦賀市訪ソ親善使節団派遣。
〃 59年（1984）	6月 愛発小・中学校総合落成式。 北小学校総合落成式。
〃 59年（1984）	7月 咸新小学校プール・校舎落成式。 第1回敦賀少年の船派遣。 学校法人敦賀学園敦賀女子短期大学設置認可申請書提出。
〃 59年（1984）	9月 新港（鞠山北地区）の公有水面埋立免許。 韓国東海市から親善使節団来敦。
〃 59年（1984）	10月 追悼120年水戸烈士展開催。
〃 59年（1984）	11月 敦賀市公設地方卸売市場開場。
〃 60年（1985）	3月 白木トンネルが開通する。 粟野小学校・杓見小学校増改築工事が完成。 ナホトカ市から友好親善と日本料理研究のため使節団が来敦。 中央港湾審議会で敦賀港新港湾計画の変更が認められる。
〃 60年（1985）	4月 敦賀・北坪定期フェリー早期就航促進期成同盟会が設立。
〃 60年（1985）	6月 第2次日韓親善友好訪韓船で約400人が韓国を訪れる。
〃 60年（1985）	9月 気比神宮、昭和の大造宮始まる。 ナホトカ市民親善使節団が来敦。
〃 60年（1985）	10月 高速増殖原型炉「もんじゅ」建設工事が始まる。
〃 60年（1985）	11月 第1回福井県菊花大会が本市で開かれる。 中国黒龍江省賓県、鶏西市から使節団が来敦。 東海市北坪・敦賀定期フェリー早期就航推進委員会一行が来敦。
〃 60年（1985）	12月 敦賀女子短期大学、敦賀気比高校設置認可される。
〃 61年（1986）	1月 「西町の綱引き」国の重要無形文化財に指定される。
〃 61年（1986）	3月 公共下水道事業第2期計画（笙の川以西約250ha）事業許可を受ける。 葉原小学校・西小学校増改築工事が完成。 中郷小学校・粟野中学校増築工事が完成。
〃 61年（1986）	4月 敦賀女子短期大学開校。 敦賀気比高等学校開校。 松原保育園が完成。
〃 61年（1986）	5月 復元北前船「辰悦丸」が寄港し、一般公開される。 日本原子力発電㈱敦賀発電所2号機初臨界。
〃 61年（1986）	7月 敦賀工業高等学校総合完成式。 敦賀市友好訪中使節団の一行が中国東北部を訪問。 第1回訪ソ児童親善使節団がナホトカを訪問。
〃 61年（1986）	8月 皇太子ご夫妻が若狭路をご訪問、中央公民館での国際フォーラムにご出席される。
〃 61年（1986）	12月 福井厚生年金健康福祉センター「サンピア敦賀」オープン。
〃 62年（1987）	2月 日本原子力発電㈱敦賀発電所2号機営業運転を始める。
〃 62年（1987）	3月 西浦小・中学校落成式。 健康管理センターが完成。 県道柳ヶ瀬トンネル開通式。
〃 62年（1987）	4月 総合運動公園陸上競技場の竣工式を行う。 高木孝一氏が第15代市長に就任。
〃 62年（1987）	5月 気比神宮の本殿などが完成し、正遷座祭、奉幣祭が行われる。
〃 62年（1987）	7月 敦賀（中～坂ノ下）・金山（坂ノ下～岡山）バイパスが開通。 市制50周年を記念し野坂山市民登山が行われる。

年代（西暦）	事 項
昭和62年（1987）	8月 市制50周年記念のシンボル塔「翔（はばた）き」が完成。 総合運動公園野球場竣工式。 ナホトカ市民親善使節団が来敦。 気比神宮大鳥居保存修理完成。
〃 62年（1987）	10月 市立敦賀病院の増改築工事が完成。
〃 62年（1987）	11月 市制50周年記念式典を行う。
〃 63年（1988）	2月 敦賀新港公共岸壁の一部を併用開始。
〃 63年（1988）	4月 敦賀女子短期大学第2代学長に瀬戸内寂聴さんが就任する。 敦賀気比高等学校付属中学校が開校。 常宮小学校落成式が行われる。 東浦小・中学校落成式が行われる。 プロ野球セ・リーグ公式戦（中日対ヤクルト）が行われる。 北陸電力㈱敦賀火力発電所起工式が行われる。
〃 63年（1988）	5月 総合運動公園ちびっ子広場、多目的広場が供用開始となる。
〃 63年（1988）	6月 敦賀西小学校プールの竣工式を行う。
〃 63年（1988）	7月 敦賀南小学校・中郷小学校プール竣工式を行う。 第3セクター嶺南ケーブルネットワーク（都市型CATV）発足。
〃 63年（1988）	8月 気比神宮大鳥居の夜間照明が始まる。
〃 63年（1988）	10月 水戸犬狗覚ウォーカー行が水戸市より1,100kmを歩き新保に到着。 駅前にガス灯が設置される。
〃 63年（1988）	12月 角鹿中学校屋内運動場完成。
平成 元年（1989）	3月 心身障害者福祉センター「太陽の家」落成式を行う。
〃 元年（1989）	4月 総合運動公園テニスコート・ちびっ子ゲレンデ完成。
〃 元年（1989）	5月 気比神宮昭和の大造宮第2期工事竣工奉告祭が営まれる。
〃 元年（1989）	6月 総合運動公園に日本庭園の修景池が完成。
〃 元年（1989）	7月 開港90周年記念式典。
〃 元年（1989）	9月 第4次敦賀市総合計画基本構想答申。
〃 元年（1989）	10月 岐阜県各務原市との友好都市盟約締結。
〃 元年（1989）	11月 CATV本放送開始。
〃 2年（1990）	1月 第4次敦賀市総合都市計画基本計画答申。
〃 2年（1990）	2月 敦賀港ボトルネッサンス21調査委員会の最終案まとまる。
〃 2年（1990）	4月 敦賀北幼稚園と北公民館竣工。 縄間2号線（県道佐田・立石・敦賀線）開通。
〃 2年（1990）	7月 杓見小学校プール竣工。 動力炉・核燃料開発事業団PR館アトムプラザ完成。 県道敦賀～今庄線、舞崎路切に信号機設置。
〃 2年（1990）	9月 水戸烈士記念館（にしん蔵）修復完成。
〃 2年（1990）	10月 敦賀～釜山間定期コンテナ船第一船入港。 御船遊覧船（金崎宮）が48年ぶりに復活。
〃 2年（1990）	11月 プラザ萬象落成記念式典。
〃 3年（1991）	1月 市立敦賀病院に超電導MRIシステム導入。 ソ連ワニノ港からの定期配船復活第一船入港。
〃 3年（1991）	2月 杓見保育園の改築移転。 全日本バレーボール（日本リーグ）敦賀大会。
〃 3年（1991）	3月 敦賀新港供用開始。 国道8号線局部改良開通（小河口～疋田間）。
〃 3年（1991）	4月 総合運動公園体育館竣工。 高木孝一氏第16代市長に就任。
〃 3年（1991）	5月 環にほん海（東海）国際芸術祭が開催。
〃 3年（1991）	7月 産業経済部に国際交流貿易課を新設。 葉原小学校プール竣工。 敦賀市民間廃棄物最終処分場対策協議会設立。
〃 3年（1991）	8月 市立図書館落成オープン。 福井県対岸貿易促進協会敦賀事務所開所。
〃 3年（1991）	10月 北陸電力㈱敦賀火力発電所営業運転開始。
〃 3年（1991）	11月 ごみの5分別収集が始まる。 新港で大型多目的クレーンの起動式を行う。 清掃センター火入れ式。
〃 4年（1992）	2月 西公民館開館。
〃 4年（1992）	3月 敦賀市清掃センター総合落成。 消防緊急通信指令システム運用開始。
〃 4年（1992）	4月 南公民館開館。
〃 4年（1992）	5月 「洲崎の高燈籠」が福井県史跡に指定される。 赤崎小学校落成。
〃 4年（1992）	6月 敦賀市友好親善使節団派遣（ナホトカ市で花火大会開催）。 山形依希子さん（敦賀高校3年）が陸上・女子400障害で57秒65の日本新記録樹立。
〃 4年（1992）	7月 総合運動公園ローラー滑り台竣工。 白木漁港完成。 東浦小学校プール竣工。
〃 4年（1992）	8月 CATV全市内工事完成。
〃 4年（1992）	10月 地縁団体の認可指令書第1号交付式（津内町3丁目）

年代（西暦）	事 項
平成 4年（1992） 11月	気比神宮御造営事業竣工。 工芸品「孔雀鎗金経箱」（西福寺所有）が重要文化財に 答申される。
〃 5年（1993） 1月	旧大和田銀行本店（市立歴史民俗資料館）、常宮神社 のフジ、親神社のカゴノキを市文化財に指定。
〃 5年（1993） 3月	金山保育園落成。 昭和浄水場第2配水池完成。
〃 5年（1993） 4月	一般国道27号線金山バイパス開通。 北陸電力㈱敦賀火力発電所2号機増設計画の申し入れ。 市立和幸園増改築工事完成。
〃 5年（1993） 5月	国際交流嶺南センター開所。
〃 5年（1993） 6月	JC青年の船「環日本海号」ロシア派遣。
〃 5年（1993） 7月	在日外国人高齢者福祉手当支給開始。 市立歴史民俗資料館が市立博物館に名称変更。 総合運動公園ゲートボール場竣工。
〃 5年（1993） 8月	大阪ガス㈱敦賀LNG基地計画環境調査の実施につ いて申し入れ。
〃 5年（1993） 10月	北陸電力㈱敦賀火力発電所2号機・大阪ガス㈱敦賀 LNG基地計画環境調査開始。
〃 5年（1993） 11月	原子力発電所の新設・増設に関する住民投票条例制 定を求める請求が提出され、12月に開かれた市議会 臨時会で否決となる。
〃 6年（1994） 2月	橋本進吉博士顕彰歌碑の除幕式。
〃 6年（1994） 3月	市立看護専門学校落成式。 公立敦賀看護学院閉校式。
〃 6年（1994） 4月	高速増殖原型炉「もんじゅ」臨界。 敦賀市老人デイサービス事業開始。
〃 6年（1994） 7月	新規コンテナ航路就航記念式典。
〃 6年（1994） 8月	敦賀市総合運動公園弓道場竣工式。 日韓スポーツ交流大会開会式。 '94ふくい国際芸術祭・国際交流広場・民俗芸能大会。
〃 6年（1994） 11月	高規格救急自動車・救急救命士業務運用開始式。 市立敦賀病院東診療棟竣工式。 神楽町1丁目・本町1丁目アーケード起工式。
〃 6年（1994） 12月	敦賀市栗野スポーツセンター落成式。 敦賀港金ヶ崎地区岸壁工事着手。
〃 7年（1995） 1月	阪神・淡路大震災の災害見舞救援物資搬送。
〃 7年（1995） 2月	敦賀斎苑竣工式。
〃 7年（1995） 4月	河瀬一治氏第17代市長に就任。
〃 7年（1995） 7月	金山体育館起工式。
〃 7年（1995） 8月	第77回全国高等学校野球選手権大会で敦賀気比高 校ベスト4進出。
〃 7年（1995） 12月	敦賀港が「港湾景観形成モデル事業」に指定される。 松原海岸が「事前環境保全型海岸整備モデル事業」に 認定される。 防災対策室を設置し、各務原市・向日市と災害時相互 応援協定を締結。 高速増殖原型炉「もんじゅ」二次系ナトリウム漏えい 事故発生
〃 8年（1996） 2月	敦賀市雪害対策本部が12年ぶりに設置される。
〃 8年（1996） 3月	一般国道476号線・国道8号バイパス17工区開通。 敦賀～大連・青島港（中国）間定期コンテナ航路開設。
〃 8年（1996） 5月	姉妹都市韓国東海市へ「敦賀市民の船」派遣。
〃 8年（1996） 6月	超高速フェリーすずらん・すいせん就航。 「敦賀市行政改革大綱」策定。
〃 8年（1996） 8月	「原子力政策円卓会議」敦賀市で開催。 第5次敦賀市総合計画基本構想答申。
〃 8年（1996） 9月	街あかり創出事業道路照明灯点灯開始。
〃 8年（1996） 12月	敦賀～丹東港（中国）間定期コンテナ航路開始。 近畿自動車道敦賀線全線整備計画決定。
〃 9年（1997） 1月	ロシアタンカー油流出事故敦賀市災害対策本部設置。
〃 9年（1997） 2月	第5次敦賀市総合計画基本計画答申。
〃 9年（1997） 3月	シンボルロード化整備事業の工事が着手される。 北陸電力㈱敦賀火力発電所2号機の起工式が行われる。 中郷体育館落成式。
〃 9年（1997） 4月	「緊急告知放送」が「防災放送」へ切り替えられ、内容が 充実された。
〃 9年（1997） 5月	「みなとつるが山車会館」開館。 敦賀市インターネットホームページ開設。 敦賀～上海港（中国）間定期コンテナ航路開設。
〃 9年（1997） 6月	市制施行60周年記念「スーパーバレーボール大会」開催。
〃 9年（1997） 7月	嶺南広域行政組合設置。
〃 9年（1997） 8月	第79回全国高等学校野球選手権大会で敦賀気比高 校ベスト8進出。
〃 9年（1997） 11月	市制60周年記念式典開催。
〃 10年（1998） 3月	市営松原海水浴場「日本の海水浴場55選」に認定され る。
〃 10年（1998） 4月	プール完成で「総合運動公園」総合完成。
〃 10年（1998） 9月	ハートフル・スクール（集団生活適応指導、教育相談）開所。 J24全日本選手権敦賀大会開催。

年代（西暦）	事 項
平成 10年（1998） 10月	コミュニティバス「はぎ号」運行開始。 バスケットボール日本リーグ（女子）敦賀大会開催。 全国原子力発電所所在地町村協議会創設30周年記 念事業開催。 敦賀市防災総合訓練実施。
〃 10年（1998） 11月	福井県若狭湾エネルギー研究センター落成式。
〃 10年（1998） 12月	近畿自動車道敦賀線全線施工命令が出される。
〃 11年（1999） 1月	五木ひろしさんによる開港100周年イメージソング 発表会（3曲）開催。
〃 11年（1999） 2月	鞠山南地区多目的国際ターミナル起工式。
〃 11年（1999） 3月	福祉総合センター「あいあいプラザ」落成式。 近畿自動車道敦賀線（小浜～敦賀間）中心杭打式。 中郷スポーツ広場竣工。
〃 11年（1999） 4月	25年ぶりに「大相撲敦賀場所」開催。 情報公開及び個人情報保護制度答申。 河瀬一治氏第18代市長に就任。
〃 11年（1999） 7月	シンボルロードに彫刻像設置。 日本原子力発電㈱敦賀発電所2号機一次冷却水漏え い事故発生。 敦賀～新潟～秋田～苫小牧に定期フェリー就航。 敦賀港開港100周年記念事業「つるが・きらめきみな と博21」開催。 中国台州市と友好協議書調印。
〃 11年（1999） 8月	敦賀高校が19年ぶりに夏の甲子園出場。
〃 11年（1999） 9月	大阪ガス㈱がLNG基地計画の10年延期を発表。
〃 11年（1999） 10月	きらめきみなと館オープン。
〃 12年（2000） 1月	情報公開制度スタート。
〃 12年（2000） 2月	北陸電力㈱敦賀火力発電所2号機火入れ式。 市民温泉施設温泉掘削工事安全祈願祭。 日本原子力発電㈱敦賀発電所3・4号機増設事前了承 願受理。
〃 12年（2000） 3月	初の住民参加による原子力防災訓練実施。
〃 12年（2000） 4月	介護保険制度スタート。
〃 12年（2000） 6月	きらめきスタジアム落成式。 民間廃棄物最終処分場の早期終息についての要望書 を知事へ提出。 敦賀市から初めての衆議院議員（高木 毅氏）誕生。
〃 12年（2000） 7月	北陸新幹線（南越（仮称）・敦賀間）環境影響評価準備 書公告。 民間廃棄物最終処分場問題対策協議会発足。
〃 12年（2000） 9月	防災公園（松島中央公園）完成。
〃 12年（2000） 10月	栗野公民館落成式。 都市計画マスタープランまとまる。
〃 12年（2000） 12月	もんじゅ工事計画事前了承願受理。
〃 13年（2001） 1月	「敦賀市雪害対策本部設置」（積雪95cm）
〃 13年（2001） 3月	敦賀市役所がISO14001の認証を取得。
〃 13年（2001） 4月	敦賀警察署神宮前警部交番が完成。
〃 13年（2001） 5月	敦賀消防署気比分遣所庁舎が気比神宮前へ移転。
〃 13年（2001） 7月	敦賀港外国貿易定期コンテナ航路の増便。 敦賀港～釜山港間 1便増。
〃 13年（2001） 9月	敦賀市水道水源保護条例公布。
〃 13年（2001） 11月	中国浙江省台州市と姉妹都市提携調印。
〃 14年（2002） 1月	敦賀港CFS（コンテナフレートステーション）竣工。
〃 14年（2002） 2月	福井県敦賀原子力防災センター（オフサイトセン ター）開設。
〃 14年（2002） 3月	黒河保育園落成式。 第5次敦賀市総合計画第2期基本計画策定。 大阪ガス㈱敦賀LNG基地建設計画の中止を決定。
〃 14年（2002） 6月	近海郵船㈱「RORO船」敦賀～苫小牧に航路開設。
〃 14年（2002） 7月	港都つるが株式会社設立。
〃 14年（2002） 8月	住民基本台帳ネットワークシステム稼動。 東郷コミュニティセンター落成式。 近畿自動車道敦賀線設計協議調印。
〃 14年（2002） 10月	敦賀～青島港間直行航路開設。
〃 14年（2002） 11月	衛生処理場クリーンピア落成。 JR湖西線・北陸本線直流化基本合意調印。
〃 14年（2002） 12月	敦賀きらめき温泉リラ・ポートオープン。 日本原子力発電㈱敦賀発電所3・4号機増設計画事前 了解。
〃 15年（2003） 1月	高速増殖原型炉「もんじゅ」設置許可無効の判決。
〃 15年（2003） 2月	戸籍総合システム稼動。
〃 15年（2003） 3月	JR小浜線電化開業。 敦賀港「金ヶ崎臨港トンネル」および「金ヶ崎緑地」供 用開始。 新型転換炉原型炉「ふげん」発電所運転終了。
〃 15年（2003） 4月	河瀬一治氏第19代市長に就任。
〃 15年（2003） 6月	生涯学習センターオープン。
〃 15年（2003） 7月	西公民館を元中央公民館へ移転。
〃 15年（2003） 9月	新型転換炉原型炉「ふげん」開発業務終了。

年代（西暦）	事 項
平成 15 年（2003） 10 月	JR 湖西線・北陸線直流化工事着工。
〃 16 年（2004） 3 月	粟野駅併設施設オープン（JR 粟野駅）。 国道 476 号木ノ芽峠トンネル開通式（敦賀市新保～今庄町上坂取）。
〃 16 年（2004） 4 月	敦賀市男女共同参画推進条例施行。
〃 16 年（2004） 5 月	杵見地区のお田植祭りが 18 年ぶりに復活。
〃 16 年（2004） 6 月	JR 直流化活性化・利用促進協議会設立。 敦賀市指定文化財新指定 国立福井病院のユーカリの木 1 株。
〃 16 年（2004） 7 月	日本原子力発電(株)敦賀発電所 3・4 号機工事着工。
〃 16 年（2004） 8 月	北陸新幹線南越敦賀間工事実施計画認可申請決定。
〃 16 年（2004） 10 月	つるが・みなと浪漫（若狭路もてなし「食」フェア in つるが／つるが観光物産フェア 2004）。
〃 16 年（2004） 11 月	敦賀市子育て総合支援センター開所。 北陸新幹線南越敦賀間工事実施計画認可申請決定。
〃 17 年（2005） 2 月	もんじゅのナトリウム漏えい対策等に係る工事計画了解。
〃 17 年（2005） 3 月	愛発小中学校 最後の卒業式 21 年の歴史に幕。
〃 17 年（2005） 4 月	北・南公民館に民間人材を登用。 市立敦賀病院北診療棟竣工式。
〃 17 年（2005） 5 月	遊行のお砂持ち 11 年ぶりに行われる。
〃 17 年（2005） 6 月	敦賀市産業団地調印式（株）アイケープラスと契約（進出企業第 1 号）
〃 17 年（2005） 9 月	敦賀市男女共同参画都市宣言。
〃 17 年（2005） 10 月	原子力安全基盤機構が福井事務所を設置。 第 20 回国民文化祭・ふくい 2005 が開幕。敦賀市では「邦楽の祭典」、「能楽の祭典」、「俳句大会」、「華のフェスティバル」などを行う。
〃 17 年（2005） 11 月	敦賀インターに大型歓迎塔を設置。
〃 17 年（2005） 12 月	北陸新幹線南越～敦賀間工事実施計画認可申請。
〃 18 年（2006） 1 月	敦賀市産業団地調印式（株）巴川ファインコーティング（現株 TFC）と契約（進出企業第 2 号）。
〃 18 年（2006） 3 月	葉原小学校閉校式を開催。 第 4 次敦賀市行政改革大綱を策定。
〃 18 年（2006） 4 月	市民活動支援室が男女共同参画センターに開設。 東浦公民館（5 幅）完成。
〃 18 年（2006） 7 月	みなと観光交流促進プロジェクトに敦賀港が選ばれる。
〃 18 年（2006） 8 月	AED を市の公共施設及び市立小中学校に配備。
〃 18 年（2006） 9 月	遊教塾がスタート。
〃 18 年（2006） 10 月	JR 新正田駅が完成。 敦賀高校創立 100 周年記念式典を開催。 JR 湖西線・北陸線直流化開業。つるが海道浪漫 2006、つるが観光物産フェアなど多数の直流化開業イベントが開催される。
〃 18 年（2006） 12 月	市立敦賀病院第 3 次整備事業完了。
〃 19 年（2007） 3 月	赤崎最終処分場が完成。 敦賀市第 5 次総合計画第 3 期基本計画を策定。
〃 19 年（2007） 4 月	公立幼稚園、小学校、中学校が 2 学期制試行を実施。 つるが FM・ハーバーステーション開局。 河瀬一治氏第 20 代敦賀市長に就任。
〃 19 年（2007） 6 月	敦賀～釜山間定期航路が 1 年ぶりに週 1 便体制復活。
〃 19 年（2007） 7 月	献血運動推進全国大会のため、皇太子殿下が来敦。 循環型社会を目指した三者協定を締結。（敦賀市・福井県民生活協同組合・敦賀市消費者連絡協議会）
〃 19 年（2007） 11 月	市制施行 70 周年記念式典を開催。 エネルギー連携大学拠点化構想が策定される。
〃 20 年（2008） 1 月	敦賀市防災センター完成。
〃 20 年（2008） 3 月	人道の港 敦賀ムゼウム開館。
〃 20 年（2008） 4 月	西福寺建造物が国の重要文化財に指定。
〃 20 年（2008） 9 月	敦賀港鞠山地区の「多目的国際ターミナル」が一部供用開始。
〃 20 年（2008） 11 月	国の名勝「柴田氏庭園」が敦賀市に寄附される。 国道 8 号線敦賀バイパスが全線開通。
〃 21 年（2009） 2 月	敦賀～釜山定期コンテナ航路が増便。週 3 便体制に。
〃 21 年（2009） 3 月	市内のスーパー、ドラッグストアなどで一斉にレジ袋有料化。 敦賀鉄道資料館がオープン。 木崎保育園落成式。
〃 21 年（2009） 4 月	敦賀水産卸売市場が新しくオープン。
〃 21 年（2009） 5 月	皇室献穀粟 27 年ぶりに敦賀で奉耕。
〃 21 年（2009） 8 月	敦賀港開港 110 周年記念行事の開催。
〃 21 年（2009） 10 月	「奥の細道」敦賀サミットの開催。
〃 21 年（2009） 11 月	主要地方道佐田竹波敦賀線「馬背峠トンネル」が開通。
〃 21 年（2009） 12 月	市内路線バスをコミュニティバスに一本化。
〃 22 年（2010） 2 月	日本原子力発電(株)敦賀発電所 1 号機の 40 年超え運転について、6 年間の運転延長を了承。
〃 22 年（2010） 3 月	第 82 回選抜高等学校野球大会で敦賀気比高校ベスト 8 進出。 APEC ジュニアフォーラムを敦賀市で開催。 敦賀西小学校グラウンドから敦賀城の一部とみられる礎石などが出土したと発表。

年代（西暦）	事 項
平成 22 年（2010） 4 月	市立博物館が「旧大和田銀行本店」として県文化財に指定される。
〃 22 年（2010） 5 月	大町遺跡から古墳時代の絵画土器片が出土。 高速増殖原型炉「もんじゅ」が 14 年 5 ヶ月ぶりに運転再開。
〃 22 年（2010） 6 月	APEC エネルギー大臣会合記念事業開催。
〃 22 年（2010） 8 月	敦賀港が全国の重要港湾（103 港）の中から「重点港湾」（43 港）に選ばれる。 防災情報受信機（防災ラジオ）の市民への貸与開始。 第 6 次敦賀市総合計画基本構想を策定。
〃 22 年（2010） 9 月	台風 9 号が観測史上初、敦賀市付近に直接上陸。
〃 22 年（2010） 10 月	敦賀港鞠山南地区多目的国際ターミナルが全面供用開始。 中郷公民館が落成。
〃 22 年（2010） 11 月	敦賀市農産物直売所「ふるさと夢市場」オープン。
〃 23 年（2011） 1 月	計測開始以来初めて地下水位低下警報を発令。 大雪により交通網がまひ。敦賀市雪害対策本部を設置（積雪 78cm）。
〃 23 年（2011） 2 月	市議会 3 月定例会で、平成 21 年度市歳入歳出決算が不認定となる。決算不認定は 43 年ぶり。
〃 23 年（2011） 3 月	東日本大震災の被災地へ救援物資を搬送。被災者救援のため医師、看護師らが若手県陸前高田市へ出発。 西浦児童館休館式。
〃 23 年（2011） 4 月	敦賀美方消防組合の敦賀・美浜・三方消防団に初の女性団員が誕生。 河瀬一治氏第 21 代敦賀市長に就任。 被災地支援のため宮城県山元町へ保健師を派遣。 第 6 次敦賀市総合計画前期基本計画答申。
〃 23 年（2011） 8 月	被災地支援のため宮城県石巻市へ市職員を派遣。 第 6 次敦賀市総合計画実施計画策定。
〃 23 年（2011） 9 月	台風 15 号の影響で井の口川が増水。敦賀市で初めての避難勧告を「荻生野・萩野町」に発令。
〃 23 年（2011） 10 月	敦賀市認知症高齢者及び障がい者徘徊等ネットワーク協議会設立。
〃 23 年（2011） 11 月	敦賀港が「国際フェリー・国際 RORO 船」分野で日本海側拠点港に選定される。
〃 23 年（2011） 12 月	北陸新幹線敦賀までの着工認可方針決定。
〃 24 年（2012） 2 月	福井大学附属国際原子力工学研究所が完成。 県内の全ての原子力発電所が停止。
〃 24 年（2012） 3 月	新和さみどり保育園が完成。 新和保育園・和久野保育園開園式。
〃 24 年（2012） 4 月	敦賀市教育委員会独自教育カリキュラム「敦賀スタンダード」完成。 杵見児童クラブが完成。 舞鶴若狭自動車道「敦賀南スマート IC（仮称）」の連結が許可される。 敦賀消防署消防訓練センターが完成。
〃 24 年（2012） 5 月	敦賀西小学校総合落成式。
〃 24 年（2012） 6 月	北陸新幹線金沢・敦賀間が着工認可される。
〃 24 年（2012） 7 月	中池見湿地がラムサール条約湿地に登録される。 敦賀・長浜間鉄道開通 130 周年などを記念した『つるが「鉄道と港」フェスティバル』が開催される。
〃 24 年（2012） 8 月	ロシア・ナホトカ市長が来敦し姉妹都市締結 30 周年を記念した共同宣言に調印。
〃 24 年（2012） 10 月	若手県大槌町からの災害廃棄物の試験焼却を実施。 粟野子育て支援センターが完成。
〃 24 年（2012） 11 月	中国との定期航路が 6 年ぶりに復活。
〃 24 年（2012） 12 月	JR 敦賀駅のバリアフリー化工事が完成。
〃 25 年（2013） 1 月	若手県大槌町の災害廃棄物の量が大幅に減少したことを受けて、敦賀市の受け入れを中止。
〃 25 年（2013） 3 月	敦賀短期大学で最後の卒業式と閉学式。27 年の歴史に幕。 敦賀市立子ども発達支援センター開所式。 敦賀市立看護大学設置認可申請書を提出。 第 85 回選抜高等学校野球大会で敦賀気比高校がベスト 4 に進出。
〃 25 年（2013） 4 月	白木区の「門ヶ崎」を市文化財（名勝）に指定。
〃 25 年（2013） 5 月	日本原子力発電(株)敦賀発電所 2 号機直下の破砕帯が、原子力規制委員会から「耐震設計上考慮する活断層」と評価される。 産業団地に(株)ナ・デックスプロダクツの研究開発施設が完成。
〃 25 年（2013） 6 月	敦賀市地域防災計画を改定。
〃 25 年（2013） 8 月	世界少年野球大会福井大会が開催。
〃 25 年（2013） 9 月	敦賀まつり カーニバル大行進に東京ディズニーリゾートスペシャルパレードが登場。 台風 18 号の影響で市内全域に「土砂災害に関する避難勧告」を発令。福井地方気象台が運用後初の「大雨特別警報」を発表。 高木毅衆議院議員が国土交通副大臣に就任。

年代（西暦）	事 項
平成25年（2013）10月	博物館通り「テナントミックス」の3店舗がオープン。歴史的な街並みの整備を行う。
25年（2013）11月	敦賀市立看護大学が設置認可。
25年（2013）12月	産業団地に日本ゼオン㈱の新工場が完成。
26年（2014）2月	県建設のコンテナ貨物荷さばき施設「鞠山南コンテナ・フレート・ステーション(CFS)」が完成。
26年（2014）3月	敦賀港の年間国際コンテナ貨物取扱量が3万TEUに達し、過去最高を記録。
26年（2014）4月	奈良県の4市と原子力災害時における敦賀市民の県外広域避難に関する協定を締結。
26年（2014）7月	西浦中学校休校。
26年（2014）7月	敦賀市立看護大学開学。
26年（2014）11月	敦賀駅交流施設「オルパーク」オープン。
27年（2015）1月	「命のビザ」で敦賀港に上陸したレオ・メラメド氏が73年ぶりに敦賀を再訪。
27年（2015）3月	舞鶴若狭自動車道（若狭さとうみハイウェイ）が全線開通。
27年（2015）4月	敦賀港イルミネーション「ミライエ」開催。
27年（2015）5月	北陸新幹線の金沢敦賀間の開業3年前倒しが正式決定。
27年（2015）7月	常宮小学校・西浦小学校休校。
27年（2015）10月	第87回選抜高等学校野球大会で敦賀気比高校が北陸勢初の優勝。
27年（2015）11月	洲上隆信氏第22代敦賀市長に就任。
27年（2015）12月	日本原子力発電㈱敦賀発電所1号機が運転を終了。
27年（2015）1月	市道西浦1号線暫定供用開始。
27年（2015）2月	市立博物館リニューアルオープン。
27年（2015）3月	敦賀駅前広場が竣工、供用開始。
27年（2015）4月	復興大臣に高木毅衆議院議員就任。
27年（2015）5月	敦賀赤レンガ倉庫リニューアルオープン。
27年（2015）6月	原子力規制委員会が文部科学大臣に高速増殖原型炉もんじゅの運営主体の変更を勧告
28年（2016）7月	敦賀市グラウンド・ゴルフ場「リラ・グリーン」オープン。
28年（2016）8月	第6次敦賀市総合計画後期基本計画（敦賀市再興プラン）策定。
28年（2016）9月	愛発舟川の里が完成。
28年（2016）10月	敦賀市教育振興基本計画策定。
28年（2016）11月	気比神宮境内が国名勝「おくのほそ道の風景地」に指定される。
28年（2016）12月	新松原公民館が完成。
29年（2017）1月	原子力関係閣僚会議において高速増殖原型炉もんじゅ廃炉措置方針の決定。
29年（2017）2月	敦賀市産業団地（荻生野）全15区画の分譲完了。
29年（2017）3月	市立博物館（旧大和田銀行本店本館）が国の重要文化財に指定される。
29年（2017）4月	敦賀市立看護専門学校で最後の卒業式と閉校式。23年の歴史に幕。
29年（2017）5月	舞鶴若狭自動車道の敦賀南スマートインターチェンジが開通。
29年（2017）6月	「キッズパークつるが」オープン。
29年（2017）7月	国土交通省から「景観まちづくり刷新モデル地区」に指定される。
29年（2017）8月	敦賀市を含めた11市町が文化庁に申請していた「北前船寄港地・船主集落」が日本遺産に認定される。
29年（2017）9月	台風5号の影響で、釜の川の水位が最大3.69mに達し、敦賀市初の避難指示（緊急）を発令。
29年（2017）10月	海外大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が敦賀港に初寄港。
29年（2017）11月	市制施行80周年記念式典を開催。
29年（2017）12月	気比神宮大鳥居保存修理完成。
30年（2018）1月	国道8号田結-拳野間のバイパス整備の事業化決定。
30年（2018）2月	敦賀市と東芝エネルギーシステムズ㈱が「水素サプライチェーン構築に関する基本協定」を締結。
30年（2018）3月	高速増殖原型炉「もんじゅ」の廃止措置作業開始
30年（2018）4月	福井しあわせ元気国体（第73回国民体育大会）開催。
30年（2018）5月	敦賀市では、水泳、卓球、軟式野球、ソフトボール、弓道、空手道の6競技を開催。
30年（2018）6月	福井しあわせ元気大会（第18回全国障害者スポーツ大会）開催。敦賀市では、水泳、フットベースボールの2競技を開催。皇太子殿下が来敦。
30年（2018）7月	敦賀市第2産業団地への初の進出企業として楠原輸送㈱が決定。
30年（2018）8月	敦賀市立病院・病後児保育施設「はびけあ」落成式。
30年（2018）9月	近海郵船㈱「RORO船」敦賀-博多に航路開設。
30年（2018）10月	洲上隆信氏第23代敦賀市長に就任。
令和元年（2019）11月	敦賀市駅前立体駐車場の供用開始。
元年（2019）12月	敦賀港開港120年に合わせ、海上自衛隊護衛艦「かが」が敦賀港に寄港。
元年（2019）1月	都市計画道路 岡山松陵線が全線開通。
元年（2019）2月	北陸初の再エネ水素ステーションが敦賀市公設地方卸売市場内に開所
2年（2020）3月	市役所新庁舎の建設工事が始まる。
2年（2020）4月	第2産業団地初進出の「楠原輸送株式会社」が全面操業開始

年代（西暦）	事 項
令和2年（2020）6月	敦賀市、南越前町、長浜市が文化庁に申請していた「海を越えた鉄道～世界へつながる 鉄路のキセキ～」が日本遺産に認定される。
2年（2020）7月	北陸新幹線金沢-敦賀間で最長の新北陸トンネルが貫通。
2年（2020）8月	深山トンネルが貫通し、北陸新幹線金沢-敦賀間の全トンネルが貫通。
2年（2020）9月	国道8号の2車線化工事が完了。
2年（2020）10月	人道の港敦賀ムゼウムがリニューアルオープン。
2年（2020）11月	旧大和田銀行本店社屋（みなとつるが山車会館別館）が国の登録有形文化財に登録される。
3年（2021）1月	敦賀北小学校・咸新小学校・赤崎小学校が閉校。
3年（2021）2月	敦賀市第7次総合計画を策定。
3年（2021）3月	公立で県内初となる施設一体型小中一貫校の角鹿小中学校が開校。
3年（2021）4月	第2産業団地に株式会社伝食が進出。
3年（2021）5月	敦賀港と韓国釜山港を結ぶ国際定期コンテナ船が就航。
3年（2021）6月	敦賀-高島連絡道路整備促進期成同盟会が発足。
3年（2021）7月	市道西浦2号線鈴ヶ崎トンネルが貫通。
3年（2021）8月	「氣比神宮にのぼる月」が県内で初めて日本百名月に選ばれる。
3年（2021）9月	奈良県生駒市と友好都市を提携。
3年（2021）10月	楠原輸送株式会社が第2産業団地に追加進出。全5区画で売買契約成立。
3年（2021）11月	市庁舎・消防庁舎の竣工式を挙げる
4年（2022）1月	市役所新庁舎で仕事始め。
4年（2022）2月	北陸新幹線敦賀開業に向けた誘客キャッチコピーが「つるが、発見！」に決定。
4年（2022）3月	鈴ヶ崎トンネルを含む災害制圧道路「市道西浦2号線」が開通。
4年（2022）4月	国道8号（気比神宮交差点～白銀交差点）が歩行者利便増進道路「ほこみち」に指定。
4年（2022）5月	総合運動公園に多世代型ウェルネス広場がオープン。
4年（2022）6月	敦賀駅西地区「otta（オッタ）（ちえなみき等）」オープン。
4年（2022）7月	愛発地区でドローンを活用したスマート物流のサービス開始。
4年（2022）8月	「脱炭素先行地域」に選定。
4年（2022）9月	「第4回地域共生社会推進全国サミットinつるが」を開催。
5年（2023）10月	成人年齢引き下げ後初めて「20歳のつどい」を実施。
5年（2023）11月	米澤光治氏が第24代敦賀市長に就任。
5年（2023）12月	18年ぶりに「遊行上人のお砂持ち神事」が開催。
5年（2023）1月	北陸新幹線敦賀車両基地、敦賀駅舎の市民向け見学会が実施。
5年（2023）2月	JR西日本と東日本が北陸新幹線金沢-敦賀間の令和6年3月16日開業を発表。
5年（2023）3月	4年ぶりに敦賀まつりを実施。
5年（2023）4月	柴田氏庭園リニューアルオープン。
5年（2023）5月	角鹿小中学校総合落成式を実施。
5年（2023）6月	敦賀駅西地区TSURUGA POLT SQUARE「otta（オッタ）」が令和5年度「土地活用モデル大賞」国土交通大臣賞を受賞。
5年（2023）7月	敦賀市パートナーシップ宣誓制度導入
6年（2024）8月	能登半島地震が発生。福井県に津波警報発表。
6年（2024）9月	北陸新幹線金沢-敦賀間開業。
6年（2024）10月	北陸新幹線敦賀開業に伴い、「つるが街波祭」開催。
6年（2024）11月	国道8号「大谷防災」敦賀市元比田から南越前町大谷間のバイパス整備が新規事業化決定。
6年（2024）12月	RORO 船の荷役効率化などを目的に敦賀港鞠山南地区で「複合一貫輸送ターミナル」整備事業着工。
6年（2024）1月	「敦賀市上下水道フェス」を初開催。
6年（2024）2月	とうろう流しと大花火大会が6年ぶりに開催。
6年（2024）3月	金ヶ崎エリアで音楽フェス「おぼろっく2024」初開催。
6年（2024）4月	国指定史跡「武田耕雲斎等墓」整備事業完了と記念式典開催。
6年（2024）5月	原子力規制委員会が日本原電敦賀2号機の原子炉設置変更許可申請を許可しないことを決定。
7年（2025）6月	「敦賀のおぼろ昆布製造技術」が国の登録無形民俗文化財に登録される。



敦賀市勢要覧2025

編集・発行 敦賀市

〒914-8501

福井県敦賀市中央町2丁目1番1号

TEL 0770-21-1111(代)

FAX 0770-22-6220

URL <https://www.city.tsuruga.lg.jp/>

mail kouhou@ton21.ne.jp

